

# 2016 年度 年 会 報

温故知新 65 年の想いをつなぐ

～この<sup>ま</sup>ち<sup>ち</sup>地域とともに、

この<sup>ま</sup>ち<sup>ち</sup>地域のために～

公益社団法人一宮青年会議所

# 目次

## ページ

- 1～3 一年間を振り返って 理事長 土川功介
- 4～5 一年間を振り返って 副理事長兼専務理事 眞野尚人
- 6～7 一年間を振り返って 副理事長兼青少年共育室室長 浅田佳寿優
- 8～9 一年間を振り返って 副理事長兼 LOM の未来創造室室長 久保辰也
- 10～11 一年間を振り返って 副理事長兼社会開発室室長 青山広己
- 12～13 一年間を振り返って 副理事長兼総務室室長 森 一彦
- 14 2016 年度組織図
- 15～16 2016 年度理事会
- 17～18 2016 年度総会
- 19～20 2016 年度例会
- 21～22 事務局 副理事長兼専務理事 眞野尚人
- 23～26 渉外委員会 委員長 光樂朋尚
- 27～29 総務委員会 委員長 山岡大介
- 30～33 広報・交流委員会 委員長 伊藤基児
- 34～37 国の誇り創造委員会 委員長 倉田健嗣
- 38～39 地域の誇り創造委員会 委員長 坂野伸悟
- 40～41 青少年共育委員会 委員長 大野陽平
- 42～44 拡大・アカデミー委員会 委員長 小寺浩至
- 45～46 監事所感 監事 野杵晃充、服部良太
- 47 じゃがいもクラブ 部会長 青山直生
- 48 建設部会 部会長 岩田祐治
- 49～55 2016 年度公益社団法人日本青年会議所  
世界に貢献する日本創造会議に出向して
- 49～51 議長 野杵晃充

- 52 総括幹事 平松道介
- 53 国際グループ 委員 森 功一郎
- 54 国際グループ 委員 青木俊宏
- 55 国際グループ 委員 西岡信幸
- 56～58 2016 年度公益社団法人日本青年会議所  
東海地区協議会に出向して
- 56～57 副会長 野田一郎
- 58 事務局 委員 大島 航
- 59～65 2016 年度公益社団法人日本青年会議所  
東海地区 愛知ブロック協議会に出向して
- 59 日本人の心醸成委員会 副委員長 秋田雅之
- 60 日本人の心醸成委員会 委員 青山直生
- 61 「自立」出来る企業マインド育成委員会 委員 石川昌臣
- 62 「自立」心溢れる愛知の未来創造委員会 委員 今西達也
- 63 ブロックアカデミー委員会 委員 坂井大輝
- 64 ブロックアカデミー委員会 委員 田中克和
- 65 ブロックアカデミー委員会 委員 中村有吾
- 66～69 JC 活動を振り返って
- 66 卒業生 石川昌臣
- 67～68 卒業生 久保辰也
- 69 卒業生 森 功一郎
- 70 出席率一覧表
- 71 2016 年度貸借対照表
- 72 2016 年度正味財産増減計算書
- 73 2016 年度余剰金計算書
- 74 2016 年度財務諸表の注記
- 75 財産目録
- 76 監査報告書
- 77 収支計算書(内訳書)
- 78 財務諸表等適法性確認報告書

## 「一年間を振り返って」

理事長 土川 功介



### 【はじめに】

本年私たち一宮青年会議所は創立 65 周年を迎えることとなり、『温故知新 65 年の想いをつなぐ この地域とともに、この地域のために』をスローガンとして掲げ、65 年の長きに渡り先輩方が築いてこられた歴史や伝統を引き継ぎつつも、時代のあり方に即し、様々な変化や新たな取り組みにもチャレンジしながら、運動を展開してまいりました。65 周年記念式典、そして記念事業に加え、一宮青年会議所としては 9 年ぶりとなる日本青年会議所に議長を輩出するという特別な年でありましたが、今こうしてすべての事業を終え、この日この時を迎えることができたのも、すべてのメンバーの皆様のご理解とお力添えがあったからであると心から感じています。本当に 1 年間ありがとうございました。2016 年の私たちの歩みを、皆様とともに振り返ってみたいと思います。

### 【専務室】

本年専務室は、事務局、そして渉外委員会の 1 局 1 委員会で構成し、副理事長兼専務理事として眞野尚人君にその非常に重たい担いをお願いしました。おそらく数ある役職の中で最も重要であり、なおかつ過酷といわれる専務理事と、副理事長という 2 役を同時に努め、しっかりとその職責を全うする姿を近くで見ていてとても頼もしく感じました。専務理事として厳しくもあり力強く LOM を引っ張っていただいたこと、そして常に LOM のことを考え私をサポートしていただいたことを心から感謝を申し上げます。事務局では期の途中から事務局長不在となる中でとても心細い思いもされたかとは思いますが、事務局次長を務めていただきました墨晃大くんには議事録の作成や理事会の設営など一人でこなしていただきました。本当にありがとうございました。

渉外委員長を務めていただきました光樂朋尚君は、出向者の支援、とうかい号を中心に 1 年間活動をしていただきました。持ち前の行動力で各種大会では常に会場に先乗りをし、LOM メンバーが楽しく参加できるようとても工夫を凝らした設営をされていましたね。常に JC の事が頭から離れない JC 愛を持ち 1 年間活動している姿がとても印象的でした。また途中からは事務局長の代理として私の数々の公式行事へのアテンドをしていただいたこと、特に世界会議参加のためカナダケベックまで一緒に行っていただいたこと、本当に 1 年間ありがとうございました。

### 【総務室】

総務室は総務委員会、そして広報・交流委員会の 2 委員会で構成し、副理事長兼総務室長として森一彦君に担当をしていただきました。また総務室には各委員会としての担いとして創立 65 周年記念式典、記念祝賀会をそれぞれ担当していただき、森副理事長にはその全体指揮もお願いをしました。手探りの中での 1 からの設営ということもあり多大なる苦労があったかとは思いますが、200 名以上が参加する記念式典、祝賀会を無事にすべて終えることができましたこと、心から感謝を申し上げます。

総務委員長には、総務のスペシャリストである山岡大介くんに務めていただきました。本年の総務委員会には組織としての運営はもちろんのこと、財務に関することまでその全てを担っていただきましたが、過去の経験をいかんなく発揮しすべての担いをしっかりと全うしていただきました。総務委員会は裏方の仕事と言われますが、賀詞交換例会や本年は 65 周年記念式典など、一宮青年会議所としての顔となる事業を担っていただきました。そのどちらも一宮青年会議所として恥ずか



しくないしっかりとした設営であったのも山岡委員長の頑張りがあったからこそだと思います。本当にありがとうございました。

広報・交流委員長を勤めていただきました伊藤基児君には、こちらも一宮青年会議所の顔となっただけでなく広報全般、そしてテグ交流事業、LOMを全員の心をひとつにとの思いを持ち交流例会、毎月の例会後の懇親会の全てを担っていただきました。広報の取り組みとしては戦略的広報を掲げ、早い段階で認知度調査を始め、一宮青年会議所の現状を把握するところからスタートされていましたね。なかなか新たな手法や取り組みをスタートさせることは難しかったです。広報はこれからの一宮青年会議所にとってとても重要になる要素です。しっかりと次年度への引継ぎをお願いします。交流に関しては今までの例会や懇親会のカラを打ち破るような新たな取り組みをされていたことがとても印象的でした。毎月の例会後の懇親会、そしてクリスマス家族会とともに楽しい交流をさせていただき本当にありがとうございました。

#### 【社会開発室】

社会開発室には国の誇り創造委員会、地域(まち)の誇り創造委員会の2委員会構成し副理事長兼社会開発室室長として青山広己君に担当をしていただきました。青山副理事長は委員長時代から議案の作成等への取り組みが素早く、どちらの委員会からも上がってくる議案に大幅な変更等なく精度の高い状態で上程をしていただきました。地域(まち)の誇り創造委員会では期の途中で委員長の交代など委員長不在になることが多い中、室長としての担いがとても負担となったかとは思いますが、委員会の陣頭指揮に立っていただきすべての事業を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

国の誇り創造委員会は倉田健嗣君に担当していただきました。一宮青年会議所としては今まであまり取り組んでこなかった私たちが住む日本という国に対しての誇りを養うというテーマのもと、1から例会事業を組み立てるのはとても大変だったと思います。どちらの例会事業も人集めとい

う点では大変苦勞をされているなという印象でしたが、若年層有権者を対象とした主権者意識の醸成では6月例会そして11月の事業の形で構成し6月例会には普段あまりみないような10代、20代の参加者がとても多かったことはとても印象的でした。また7月例会では創立65周年記念事業ということもあり大きなプレッシャーがかかる中、私自身がこんな例会を行ないたいと描いていたような、それ以上の例会を開催していただきました。本当に思い出に残る例会となりました。ありがとうございました。

地域(まち)の誇り創造委員会委員長には坂野伸悟くんに務めていただきました。委員長不在となることが多い中、委員会スタッフ、委員会メンバー総がかりで事業や例会を構築されている姿がとても印象的でした。そのような大変な中でも青山副理事長や塚本副委員長中心に2回の公開事業と例会だけでなく、新たな取り組みとして、市役所や他団体、そして今までのICHINOMIYA郷土グルメグランプリの出展者の方たちとともに始めた地域(まち)の誇り創造協議会を立ち上げ、どうやってこの地域(まち)を盛り上げていくのか議論されていました。今後の事業の新たな形になる礎になっていくことを願ってやみません。また、ここまで4年に渡り開催されてきたICHINOMIYA郷土グルメグランプリに関しても、新たな場所で、そして新たな形での開催へのチャレンジをしていただきました。本当に1年間苦勞の絶えない委員会であったと思いますが、委員会メンバー皆様に心から感謝を申し上げます。

#### 【青少年共育室】

青少年教育室には青少年共育委員会1委員会を配置し、副理事長兼青少年共育室室長として浅田佳寿優君に担当をしていただきました。浅田副理事長の豊富な経験から、正副理事長会議や理事会での発言される質問や意見はその議案等の問題点をとても的確に捉えており、いつも会議を引っ張っていただいていると感じていました。室長としても大野委員長を導き、大きな事業を展開していただけたのも浅田副理事長の手腕があったからこそだと感じています。2017年度

には監事としての大役がありますが、必ずやその職責を全うしていただけるものと確信をしています。本当に1年間ありがとうございました。

青少年共育委員会を担当していただきました大野陽平君は、持ち前の行動力で1年間休むことなく2例会5事業を行い、とても生き生きと準備に当たっている姿が印象的でした。理事会などではなかなか自分の意見を表現したり相手に伝えるところで苦勞されていましたが、子供たちの前で堂々と話をしている姿を見て影で努力してきたんだなど感心したことをとてもよく覚えています。田んぼでアートの事業もサマーアドベンチャーの事業も、おそらく私たちの見えないところでの準備にととてもたくさん時間を使われていたと思います。この大きな事業を2つもやり遂げたことを自信に、次年度以降活動していただければと思います。1年間本当にありがとうございました。

#### 【LOMの未来創造室】

LOMの未来創造室には拡大・アカデミー委員会1委員会を配置し、副理事長兼LOMの未来創造室室長として、文字通りLOMの未来を託し卒業生である久保辰也君に担当していただきました。入会してから7年間、休むことなく走り続けてこられた久保さんであっても、最終年度はゆっくりしたいとの思いもあったかとは思いますが、これからのLOMのためを思い、最後の男気で副理事長を受けていただいたこと、心から感謝をしています。専務経験があったからこそ常にLOM全体を見渡し、和を大切にされるその優しさや、楽しくも厳しく委員長を指導されている姿を見ることができて、私自身とても嬉しかったです。1年間本当にありがとうございました。そして8年間のJCライフ本当にお疲れさまでした。

拡大・アカデミー委員会委員長には小寺浩至君に務めていただきました。小寺委員長は今年から公益法人格に移行したことに伴う上期下期制度の廃止に伴い、入会月が1月のみとなる新たな取り組みの中で、おそらく戸惑われることも多かったと思います。またそれと並行して正会員予定者オリエンテーションも開催していただいていたので、年初から気が休まる時もなかったの

はないかと思いますが、素晴らしいオリエンテーション、そして拡大活動を積極的に展開していただきました。小寺委員長のもとで正会員になったメンバー、そして新たに入会していただいたメンバーは、必ずLOMの未来を託することができる人材になっていくものと確信をしています。1年間本当にありがとうございました。

#### 【監事】

本年監事には、昨年から引き続き監事を務めていただきました服部良太君、そして新たに野杵晃充君に引き受けていただきました。服部良太君には、野杵監事が日本青年会議所公務のため不在が多くなる中、多くの責任がかかりプレッシャーもあったかとは思いますが、的確な意見や厳しくも温かい助言やアドバイスをいただきましたこと、心から感謝を申し上げます。野杵監事には日本青年会議所の激務の中も常にLOMの事を気にかけていただき、要所要所で頂いたご意見やアドバイスには、様々な経験をされたからこそ気づいていただいたものばかりで、私自身も勉強をさせていただきました。1年間本当にありがとうございました。

#### 【最後に】

創立65周年を迎えたとはいえ、私たちの歩みがここで止まるわけではありません。これから70年80年そして100年へと続く新たな歩みを踏み出していくこととなります。2017年度は一宮青年会議所として東海地区協議会会長輩出、そして東海地区の事務局を担うという大きな担いのある年となります。ここまで私たちが得た様々な学び、成長、そして作り上げたメンバー同士の絆、その全てを2017年にぶつけ、素晴らしい1年となること、そしてその大きな担いの先には更なるLOMとしての成長があることを祈念いたしまして、私の1年の振り返りとさせていただきます。2016年私たちの事業に関わっていただきましたすべての方に、心から感謝を申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

## 「一年間を振り返って」

### 副理事長兼専務理事 眞野 尚人



2016年度、土川理事長のもと副理事長兼専務室室長という大役を1年間務めさせていただきました。このような機会をいただきました土川理事長をはじめとする全メンバーの皆様に深く感謝申し上げます。年会報を書き上げるに当たり2015年8月からの手帳を見返して思うことは、良くこの1年半乗り切れたなど、只々素直に思うばかりです。土川理事長を始めとする、正副理事会構成メンバーの皆さま、正副理事長会議・理事会では慣れない司会進行にお付き合いいただき、また様々な場面での運営における調整・依頼事項にご理解ご協力いただき本当にありがとうございました。2014年度に初めて理事を受けた時にもそう思い活動していましたが、私自身も例に漏れずJCに入る動機は自分の成長のため、仕事のためでした、それがいつしか誰かのためになり、すっかり分かった気でおりました。しかし、この副理事長兼専務理事という役職をやり終えた今は、まさしくこの役職こそ誰かのためを象徴するような役であったのではないかと確信しています。本当に勉強になりました。

私が担当いたしました専務室では、事務局と渉外委員会の2つで構成されておりました。事務局に関しては、事務局年会報にて記載させていただきましたのでそちらをご一読いただければと思います。

渉外委員会では、光楽委員長に利他の精神を持って1年間渉外活動に取り組んでいただきました。ここ2年程、単独専務制で組織構成されましたが、専務室付けとしたことで、各種事業・大会等の伝達・取りまとめも比較的スムーズに行うことができたのではないかなと思います。私も、光楽委員長も渉外委員会は未経験でしたので始めは戸惑うことばかりでしたが京都會議の現調に始

まり段々と面白さを感じて活動することができたのかなと思います。京都會議の出し物では早速、光楽委員長独自のユーモアとリーダーシップを発揮してくれました。ありがとうございました。世界に貢献する日本創造会議議長として野村晃充君を排出し例年ではあまり意識していなかったASPAC・サマーコンファレンス・東海フォーラム・全国大会・世界会議などへの参加・登録数にはかなり神経を使いました。この点では、LOMメンバーの皆さまへも多大なご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。そんな中、本当に良い委員会スタッフ・メンバーに助けられました。ありがとうございました。特に森功一郎委員におかれましては卒業年度にも拘らずご無理を言いましたがその背中があったからこそ、当委員会から4名が次年度理事として未来につながる人材に育ったことは間違いないと思います。渉外委員会メンバーの皆様、この経験を活かして2017年度も羽ばたいて下さい。本当に1年間ありがとうございました。

入会して7年、2014年に初めて理事を受けた時も今年1年本当にできるのかという不安を抱えながら何とかやり遂げ、続く2015年の財政局長では特に例会・事業はありませんでしたが次年度が重なる9月から12月は毎日JCばかりで多忙な日々でした。しかしこの2015年8月から2016年12月までは本当に毎日がJCと言っても過言ではないくらい毎日頭からJCが離れることはありませんでした。その中でも特に特別な思い出として、野村議長を始めとする日本出向者支援のために毎月理事長と参加した日本本会の理事会があります。いつも楽しみにしていたのは冒頭の会頭挨拶です。理事会冒頭の会頭挨拶は20分～30分は話をされます。それにも驚かされましたが、

その間、理事会構成メンバーの常任理事始め委員長全員がその言葉を聞き逃さないよう必死にメモ書きを取っている光景には大変驚きました。全国 3 万 6000 人からなる一大組織を動かす原動力がここから始まり全ての運動につながっていく過程に初めて理解と納得をすることができたことは非常に良い経験だったと思います。会頭挨拶で成長とはというフレーズがあります。「見えなかった物が見えるようになる、感じられなかったものが感じられるようになるそれが成長です」という言葉を 2015 年 11 月に第 1 回予定者理事会の大阪で聞きました。先日最後の第 11 回理事会の会頭挨拶で「毎年、毎年、その役職をできると思って受けたことは一度もない、やるかやらないか只それだけだ。中略。それをやり終えたここにいる皆さんは 1 年前とは全く違う視点から話ができるようになっているのではないのでしょうか」というお話がありました。この実体験からくる言葉には非常に重みがあり、もちろん会頭の担いとは負担は全然違いますがこの単年度制の青年会議所という団体において、どこを切り取っても役職を担っている人は常にこの重圧と戦い乗り越えていっているのだということに共感を覚えたとともに一つの答えに辿り着けたような気がしました。

最後になりますが、土川理事長にはこの役職にお声掛けいただけたこと誠にありがとうございました。どれだけご期待に添えたかどうかは分かりませんが、自分の中では精一杯役目を果たせたという思いでこの年会報を書き上げております。本当に色々なことがあった 2016 年度でしたが、今となっては良い思い出です。若輩者ではありますが、暖かく見守っていただきました正副メンバーの皆様、そして野杵監事、服部監事を始め理事会構成メンバーの皆様と意見を交わしあった時間が掛替えのない物であったと感じております。本当に一年間ありがとうございました。この経験を社業・家庭の発展・自分自身の成長につなげ残りの JC ライフを悔いの無いよう活動していきたいと思っております。1年間ありがとうございました。

「一年間を振り返って」

副理事長兼青少年共育室室長

浅田 佳寿優



2016 年度副理事長兼青少年共育室室長という大役を務めさせていただきました土川理事長には厚く御礼を申し上げます。また、一年間サポートを頂きました青少年共育委員会の皆様、そして全てのメンバーに感謝申し上げます。

昨年は副理事長兼研修室室長を務めさせていただきました、2 つの委員会を担当させていただきました。その経験や反省を活かし、本年に臨みましたが、至らぬ点も多々ありました。青年会議所で活動するからには、この地域のため、地域の子どものためという思いも必要ではありますが、自己の研鑽も必要ではないかと思えます。昨年と同じ役職であったため、自分の中に甘えが生じ、慣れからくる慢心もあったのではないかと感じています。振り返ってみますと、果たして自己成長はあったのだろうか、疑問が残る年となってしまいました。また、副理事長として、土川理事長をしっかり支えることができていたのか、率先して行動する姿勢を示すことができていたのか、あるいは室長として適格なアドバイスができたのか、次世代の役職者を育成できていたのか。どれにおいても達成できておらず、非常に反省ばかりが思い当たる一年でした。

青少年共育委員会を担当させていただきましたが、私は 2010 年に入会してから、この青少年育成に関する委員会を経験したことがありませんでした。委員長を引き受けて頂いた大野陽平君も同じく、この委員会は未経験であったため、当初は二人揃って手探りでスタートしたことを思い出します。共に苦勞をしましたが、しっかりとした基本方針を確立していただき、子どもたちの生きる力の共育を目的とし、思いやりの心と、主体性を育むことをテーマとした事業展開を行わせて頂きました。4 事業 2 例会、そして 5 月から始まり 11

月までの間、本当に長きに渡り事業を行いました。今こうして振り返ってみると非常に充実した一年間でした。それも素晴らしい委員長と委員会メンバーがいてくれたからこそだと実感しています。

子どもたちの思いやりの心を育む事業として、一宮市では初となる田んぼアートを行いました。色々な下調べや、様々な方との連携、事前準備等、青少年共育委員会は見えない部分の動きが非常に多いことを実感しました。たくさん苦勞もありましたが、大野委員長を始め委員会メンバーの皆様の協力があり、8 月には立派な「いちみん」を描くことができました。参加して頂いた子どもたち、保護者の皆様方、そしてご協力いただきました多くの皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

また、子どもたちの主体性を育む事業として、今年で 3 度目となるサマーアドベンチャーを開催させていただきました。主体性とは自分達で考えて行動することが必要ですが、その目的に向かうには本当に苦勞をしました。一泊二日という長丁場の例会でしたので、メンバーの皆様にはご負担をかけたのですが、皆様のご協力により、無事に終えることができました。重ねて感謝御礼を申し上げます。

この二つの例会、事業においては、大野委員長が本当にやりたかったものであったかという、そうではなかったのかもしれない。私の力不足により、思い描いていた事業を行うことができなかった点に関しても、委員長には大変迷惑をかけたしまったと反省しています。しかし、様々な意見にも素直に対応してくれ、真面目に遂行して頂き、このような大変な委員会をしっかりとめ上げてくれたことは感謝しかありません。適材適所で働い

てくれたスタッフと委員会メンバー。誰一人欠けていても達成できなかったのではないかと思います。改めてですが、心から感謝と敬意を申し上げます。改めまして、心から感謝と敬意を申し上げます。

最後になりますが、副理事長という役職を任せいただいた土川理事長に感謝御礼申し上げます。副理事長を二度、経験できるメンバーは少なくなってきましたので、このような経験ができたことは残りのJC生活の財産になると思います。頼りない部分もあったかもしれませんが、温かく見守ってくださり、ありがとうございました。また、理事会構成メンバー及びLOMメンバーの皆様にもたくさん助けていただきました。改めて感謝いたします。そして何より、本年の事業に携わっていただきました参加者やご関係者の皆様方、誠にありがとうございました。

## 「一年間を振り返って」

### 副理事長兼 LOM の未来創造室室長

久保 辰也



この1年を振り返りますと、まず出てくる想いとしては、「室長って難しいな」って想いです。室長は初めてでしたが、正副は2度目でしたので、それまで接してきた副理事長の方々を見ていて、自分でも出来るだろうと高をくくっていたところがありました。

いざ蓋を開けてみますと、こんなに難しい役職はないかと確信をいたしております。自分でやるのと、導くのでは、こんなにも違いがあるのかと驚かされました。

確かに社業においても、中間管理職時代は、社内を纏めることで非常に悩んでいた時期がありました。長の言う事を、どう伝えればよいのか。他の副理事長からの意見をどう伝えればよいのか。自分がやって欲しい事を、どう伝えればよいのか。言われたまますを伝えればよいのか。どんな立ち振る舞いをすればよいのか。委員長よりも前に出ないようにした方がよいのか。そんな事をいつも考えながら室長という役を演じていたつもりではありません。

しかし、そこでも自分の弱さが出てしまいました。伝えるべきことを、きちんと伝えられなかったり、厳しく言っておいたほうがよいことでも、争い事を避けるかのように、厳しく言えなかったりと、自分自身の事において一番に修練を積まなければならぬ室長のテーマから逃げてばかりいたように思います。

そういう事が祟ってか、始めは纏まりのある委員会運営をしていたつもりですが、委員さんを不安にさせてしまったり、纏まりにほころびが出てきたりと、いくつかの不安要素を抱える委員会になってしまったと感じます。それを少しでも立て直すには、やはり時間も労力も沢山かかってしまったと思い、自分自身の行動に関して、初めから、

もっとこうしておけばよかった。これは言うべきだった。等の後悔の念ばかりが浮かび上がってきます。委員会メンバーには本当に申し訳ない気持ちで一杯です。

しっかりと導けず、本当に申し訳ございませんでした。

そんな中、卒例をむかえるわけですが、結果的に卒例が委員会を1つにしてくれた要素でありました。

当然のことながら、議案を審議可決いただく事から始まり、審議いただければ、設営の準備、2016年入会の方との打ち合わせや練習など、やるべきことが山ほどある中、非常に不安を覚えていた私がいましたが、徐々にではあるが、スタッフが団結をしていき、それに釣られて委員さんの協力も仰げ、委員会が一体となっていく感じがありました。先輩のお祝いメッセージ動画撮りに走り回ったり、卒業生一人一人に手渡しで案内を渡しに行ったり。前日の準備は委員会メンバー全員での設営にリハなどを繰り返すことができ、例会そのものも無事終わられて良かったのですが、それよりも事前準備の段階の充実した時間を委員会メンバーで共有が出来たことが何よりの財産になった気がします。

担当でありましたが、例会当日はお客様の気持ちで参加をさせてくれたこと、本当に感謝しております。出来の悪い担当でしたが、皆のおかげで最高のJCライフに終止符を打つことが出来ました。

2016年度 小寺委員長率います拡大・アカデミー委員会の皆様には、本当に感謝です。ありがとうございました。

そして最後に、副理事長としてですが、一年を通して和を持って接してきました。土川理事長の

居るところに全て行く事は出来ませんでした、  
どうせ行くなら正副全員でという気持ちがありました  
たので、要所要所で正副全員で理事長を支えた  
という気持ちを打ち出していたつもりです。

やはり、副理事長ですので、正副理事長会議  
などにおいて、活発な議論を交わすときもありま  
す。分かり合えないときもあります。不満が出る時  
もあります。ですが我々は土川理事長のもとに集  
結したわけですので、いつも支えなければならな  
いという思いで 1 年間を過ごさせていただきました。

それが良かったのか悪かったのかはわかりま  
せんが、正副全員で行った、金沢会議や日本の  
理事会や愛知ブロックの会員会議所など、いい  
意味ですごく記憶に残っていますし、2016 年をこ  
の正副でやれたことに誇りを持っている自分が居  
ます。

理事長の側にいつも居ることは、非常に大変  
です。お金も時間もかかります。ですが、負担を  
掛けないようにと理事長を軸に集結する事を軽  
減してしまうというのは、纏まりに欠ける結果にな  
っていくような気がします。あくまでも私の考えで  
すが、理事長のもとにはいつも副理事長全員が  
いる。そんな上層部であるならば、その下もきっと  
それにならうんだと確信をしています。

最後はお願いのようになってしまいましたが、  
小さな纏まりが LOM 全体の纏まりにつながると私  
は信じておりますので、これからの一宮青年会議  
所が纏まりのある LOM でいつづけるために、残  
されたメンバーの皆様の心の片隅に置いておい  
ていただければと思います。

しっかりとした運営が出来なかった副理事長兼  
室長でしたが、皆様のおかげで 1 年を全うするこ  
とが出来ました。皆様、本当にありがとうございました。



## 「一年間を振り返って」

### 副理事長兼社会開発室室長

青山 広己



2016 年度土川功介理事長のもと副理事長兼社会開発室室長という大役を務めさせていただき、65 周年という激流の中、なんとか1年を乗り越えることができたことに胸をなでおろしているというのが正直な感想です。明るい豊かな社会の実現の理念を直接的に、私の住まう地域(まち)に、私たちの運動を起こす委員会の担当をさせていただくことの重責に身の引き締まる思いでございましたが、ここまで様々な面でご協力をいただきました土川理事長を始め、メンバーの皆様のお陰様をもちまして、無事に 2016 年度を終えることができましたことに心から感謝、御礼を申し上げます。

副理事長として一宮青年会議所の在り方や方向性について精査していく立場に立ち1年間活動をしてきたつもりではありますが、理事会で納まりきらず、何度も臨時理事会を開催することとなりました。また室長という立場からも、候補者段階で委員長の交代や、その後の諸問題があり、委員長との関わりを多くし、議案や事業の組立に踏み込んだつもりではありましたが、満足がいくほどの結果は残すことが出来ませんでした。また副理事長という立場でありながら会員拡大についても満足な実績を挙げることができず、やり残したと感じます。この経験を自分自身の反省とし、次の立場の方に引き継ぎ、これからの自身の成長に繋げていきたいと思えます。

社会開発室では2つの委員会を担当させていただきましたが、地域(まち)の誇り創造委員会では 2015 年に礎を築いた『一宮のブランド』、食の面では一宮メシ『一宮どてカラ丼』、文化面では 138 ハロウィンを『一宮のブランド』として一宮市の誰もが知り、他の地域の人たちに誇りと愛着を持って話すことができるようなブランドにしていくこと

を目指す委員会でした。吉田委員長候補者には、基本方針、事業計画を計画した段階で、家庭の事情により委員長候補者を降格することとなり、後任の坂野委員長は、非常に苦しいスタートとなりました。2 月から初めての試みの誇れる地域(まち)創造協議会を開催し、まだ例会の根幹も固まる前のスタートとなり、非常に苦しんだ時期だと思います。しかしながら毎週の委員会メンバーが集まり、何とか形になり、参加者にも共通認識を持って協議会を進めることができたのではないかと感じています。次に時間を費やしたのが、一宮の中心市街地で例会を行うことです。この例会を開催するために、中心市街地に住んでいる人々や新しい開催場所になる市役所管轄であるオリナス一宮、夢織広場、葵公園のコンセンサスでした。一見、市役所管轄と言えば、一括で共通回答かと思っていましたが、管轄各課にとっても初めての試みでもあったので、なかなかスムーズな回答をもらうことが出来ることが出来ませんでした。しかしながら、委員会メンバー総出で多くの時間を使い、熱意をくみ取ってもらい、最後には非常に大きな事業を作り上げ、地域(まち)ブランドの大きな発信ができたのではないかと感じています。

また、多くの諸団体の方たちと意見交換を行う中で、地域(まち)づくりについて考える時間も多く、私自身にとっても非常に多くの学びを得る機会にもなりました。

国の誇り創造委員会については、委員会名を見てわかるように近年には無い運動を伝える委員会であり、主権者意識の醸成と日本人の誇りと意識の醸成の 2 本柱の事業で後者は本年度で 65 周年を迎える一宮青年会議所としての記念事業を担当する委員会でした。70 年ぶりの改正公職選挙法が成立し、選挙権を持つ年齢が満 20

歳以上から満 18 歳以上にすることになったこともあり、世間からも注目を浴びる事業でありました。6 月例会では、目標人数には達することはできませんでしたが、近年にはない若年層に参加してもらえることができ、主権者とは何か、これからの未来を自分の意志でつくっていくことが自分の未来を変えることが、しっかりと伝わったと感じています。また 65 周年記念事業では、『日本人の誇りと意識の醸成』と壮大な担いの中、どのように脈々と続いてきた日本人の精神性を伝えるのかと頭を悩ませる事業でした。倉田委員長には、候補者段階から本当に頭を抱え、悩んでいましたが、その中でも委員会を良くまとめ、経験の長いメンバーからも大きな協力を得て、スタッフを始め委員会メンバーの頑張りにも目を見張るものがありました。これからの公益団体として新たなチャレンジをしましたが、動員の手法やチケットの販売方法に未熟な点があり、目的に達成することができませんでしたが、65 周年記念事業に相応しい設えと事業の内容となったのではないかと感じております。どちらの委員会についても、軌道修正等をさせていただくことはありながらも、委員長 2 人とも議案作成の段階からしっかりとその職責を全うして頂き、両委員長をはじめ、スタッフ委員会メンバーに心からの敬意と、感謝の気持ちを申し上げます。

私も一緒になってこの両委員会と事業の構築にあたれたことは本当に素晴らしい経験をさせていただいたと感じています。

最後になりますが、改めて副理事長という役職を与えていただきました土川理事長に感謝を申し上げるとともに、本年得た経験や学びを、次年度以降の JC 活動にしっかりと生かしていきたいと思っております。

## 「一年間を振り返って」

### 副理事長兼総務室室長

森 一彦



2016 年度土川功介理事長より総務室担当副理事長兼室長という大役を拝命してから、1 年と半年、この貴重な経験の機会を与えて頂いた土川理事長と一宮青年会議所のために、自分に何ができるのか、何をしなければいけないのか、そして何より「自分は副理事長として何がしたいのか」ということを考えてJC活動に臨んでまいりました。もちろん、初年度副理事長として手探りの部分も多くあり、至らないところ反省すべきところも多々ありましたが、大きく言えば 3 つの事に要約ができるのではないかと思います。

まず一つには、理事経験者として初年度理事である両委員長に、より広い視点に立って適切に担いを割り当て、指示を出すことです。この点について、実務を担う委員長のために自ら積極的に動いて方向性を示すべきでしたが、当室の担当する業務の全体像を把握する努力を懈怠したことに加え、過去の事例や不明な点を事前に十分確認する手間を怠ったことで、特に周年事業に関する部分において、両委員長に大変な苦勞をかけ、また当室の受け持った事業の内容としても悔いの残る部分を残してしまいました。

二つ目は、委員長の出した結論や考えを徹底的に精査し、妥協しない姿勢と深い考察力を養ってもらったことでした。本来であれば、委員長が自らの事業目的を本当の意味で達成するために、理事経験者である副理事長が委員長の想いを踏まえたうえで、あえて厳しい目で精査することで、事業がより良く深いものになり委員長自身の目指すゴールに近づけることができるはずですが。しかしながら、その点に関しても自分自身の余裕の無さや気のゆるみから十分には行えなかった事が悔やまれます。たとえ一部でも安易な妥協を見逃すことなく、委員長の成長や事業の成功

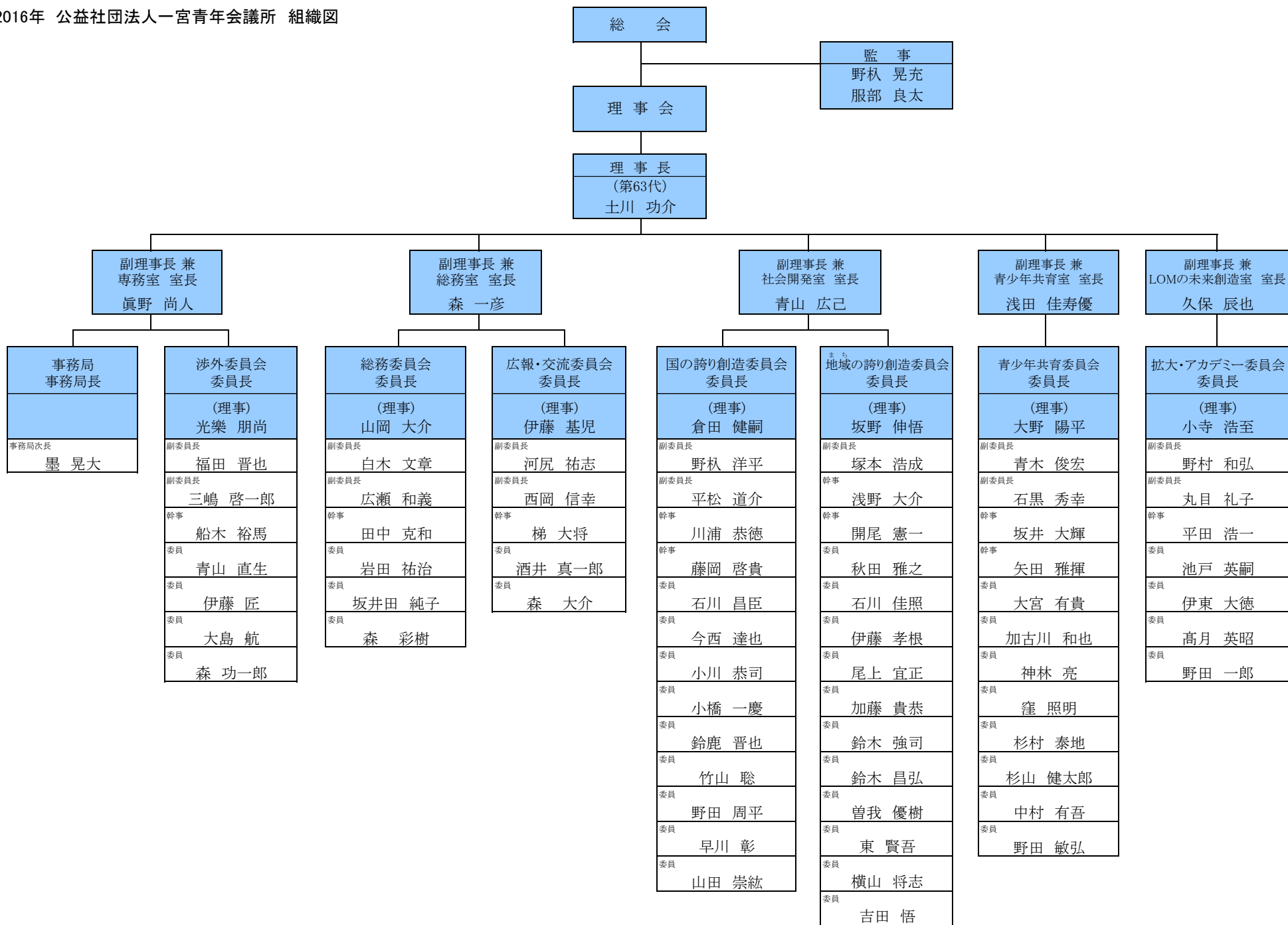
を思えばこそ、あえて厳しく望む部分も、もう少し必要だったのではないかと感じます。

三つ目は、「適切で健全」な委員会運営をサポートすることです。一宮青年会議所の委員長とは端的に言えば「リーダー」であり、給与を払うわけでもないスタッフや委員会メンバーの協力を得て1年半の間、いろいろな苦勞を乗り越え、委員会という組織を回さなければいけません。またそれは、次世代を担う人材を育て「いつか自分も役職を受けてみよう。」と、卒業する最終年度のメンバーに敬意を払い「JC生活の最後の一年がこの委員会でもよかった。」と、そう感じてもらえるような組織でなければいけません。これは会社組織などを含めたいろいろな組織運営の中でも、かなり高度で難しいことなのではないかと思います。私自身、清廉潔白でも勤儉誠実でもなく、言ってみれば不良副理事長とでもいうような部分もあったように思いますが、この点は何としても両委員長を支え導いていきたいと考えていました。実際の委員会運営では、両委員長ともタイプは対照的でしたが、それぞれの個性を活かしながら積極的に委員会の雰囲気を作り上げ、リーダーシップを発揮して委員会をまとめ、最後まで一丸となって走り抜けてもらえたことは非常に嬉しく、本当に両委員長に感謝しています。

かつて「楽しくなければJCではない」、と言われた先輩がいるそうですが、その意味は飲んで騒いで楽しいというような表面的な楽しさではなく、「どんな担いであれ、やるからには関わる皆を楽しませなければいけない、良い雰囲気全員が生き生きと、皆が憧れるようなJC活動でなければいけない」という意味があったのではないかと思います。その意味で両委員長には本当に楽しく幸せな一年を過ごさせていただき、逆に教えられ

る事も多い一年間でした。

事業年度の終わりが近づくにつれ、この委員長やメンバーだったらもつといい成果が出せたのではないかと、あの時こうすればより良い事業になったのではないかと、悔やむことが多く思い出され、副理事長としてサポートしきれなかった自分の力不足や怠慢を猛省するばかりですが、そんな頼りない副理事長のもとでも、それぞれに個性とリーダーシップを発揮し委員会をまとめ上げた山岡委員長、伊藤委員長、それを支えてくれたスタッフと委員会メンバーに、また各種事業に御協力いただきました LOM メンバーや関係するすべての皆様、そしてこの機会を与えて頂きました土川理事長に、深く感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



## 2016 年度理事会

### 第 1 回理事会 1 月 20 日(水)

#### アイプラザー宮 第 6 会議室

①2015 年度公益社団法人一宮青年会議所 決算報告書の承認に関する件②'16 正会員及び正会員予定者の確認に関する件③'16 正会員組織図の修正に関する件④'16 委員会の構成員・事業計画・事業予算の変更に関する件⑤'16 日本・地区・ブロックへの出向の変更及び追加に関する件⑥'16 正味財産増減予算書、収支予算書の修正に関する件⑦'16 定時総会に関する件⑧例会の開催(2 月)に関する件⑨誇れる地域(まち)創造協議会の開催(2 月～11 月)に関する件⑩2015 年度年会報の発行(3 月)に関する件⑪2016 年度 LOM 基本資料の発行・発送(3 月)に関する件

### 第 1 回臨時理事会 1 月 29 日(金)

#### 森吉通運株式会社 本社会議室

①役員を選任に関する件②'16 定時総会に関する件

### 第 2 回理事会 2 月 10 日(水)

#### 株式会社土川油店 4 階会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②例会の開催(3 月)に関する件③65 周年記念式典の開催(5 月)に関する件④65 周年記念映像の作成(5 月)に関する件⑤子どもたちの思いやりの心を育む(5 月～11 月)に関する件

### 第 2 回臨時理事会 2 月 22 日(月)

#### 株式会社土川油店 4 階会議室

①例会の開催(3 月)の変更修正に関する件

### 第 3 理事会 3 月 10 日(木)

#### 株式会社土川油店 4 階会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②会員の休会の承認に関する件③例会の開催(4 月)に関する件④第 43 回 JC 青年の船「とうかい号」乗船者支援(4 月～8 月)に関する件⑤主催者としての意識醸成(6 月～10 月)に関する件⑥一宮市民水ロケット教室の開催について協力をお願いに関する件⑦'16 理事長候補者・監事候補者選考委員会決定に関する件

### 第 4 回理事会 4 月 8 日(金)

#### 株式会社土川油店 4 階会議室

①'16 組織図の変更に関する件②賀詞交歓例会(1 月)の事業報告に関する件③会員の拡大(1 月～12 月)に関する件④例会の開催(2

月)事業報告に関する件⑤入会 3 年未満研修会の実施(5 月)に関する件⑥子どもたちの主体性を育む(6 月～8 月)に関する件⑦公益社団法人日本青年会議所 2017 年度地区担当常任理事並びに公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会 2017 年度会長立候補推薦の承認に関する件⑧公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会 2017 年度事務局開設の承認に関する件⑨'16 第 1 回臨時総会に関する件⑩'16 選挙管理委員会の委員の指名に関する件⑪おりもの感謝祭一宮七夕まつりの協賛に関する件

### 第 5 回理事会 5 月 10 日(火)

#### 株式会社土川油店 4 階会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②2015 年度年会報の発行(3 月)の事業報告に関する件③2016 年度 LOM 基本資料の発行・発送(3 月)の事業報告に関する件④例会の開催(3 月)の事業報告に関する件⑤公開例会(記念事業)の開催(7 月)に関する件

### 第 6 回理事会 6 月 6 日(月)

#### アイプラザー宮 第 6 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②第 43 回 JC 青年の船「とうかい号」乗船者募集(1 月～3 月)の事業報告に関する件③主催者としての意識醸成(6 月～10 月)の変更修正に関する件④公開例会(記念事業)の開催(7 月)の変更修正に関する件⑤おりもの感謝祭一宮七夕まつりの協賛に関する件⑥おりもの感謝祭一宮七夕まつり写真コンテストの後援名義及び協賛に関する件

### 第 3 回臨時理事会 6 月 28 日(火)

#### アイプラザー宮 第 6 会議室

①誇れる地域まちの創造(7 月～10 月)に関する件②正会員予定者の正会員承認に関する件③正会員予定者の委員会配属に関する件

### 第 7 回理事会 7 月 8 日(金)

#### アイプラザー宮 第 6 会議室

①事務局夏季休暇に関する件②日本宇宙少年団一宮分団育成会会費に関する件③平成 28 年度一宮市観光協会会費の納入に関する件

### 第 8 回理事会 8 月 3 日(水)

#### アイプラザー宮 第 6 会議室

①例会の開催(4 月)の事業報告に関する件②入会 3 年未満研修会の実施(5 月)の事業報告に関する件③西尾張 6JC 合同例会の開催(9 月)に関する件④JC だよりの発行(9 月)に関する件⑤2017 年度 LOM 基

本資料の作成(9月～12月)に関する件⑥2017年度公益社団法人一宮青年会議所理事及び監事の選任に関する件⑦'16第2回臨時総会の開催に関する件⑧第15回いちのみやタワーパークマラソンの後援名義使用に関する件

**第4回臨時理事会 9月5日(月)**

**株式会社土川油店 4階会議室**

①2017年度公益社団法人一宮青年会議所理事及び監事の選任に関する件②'16第3回臨時総会の開催に関する件

**第9回理事会 9月8日(木)**

**アイプラザー一宮 第6会議室**

①会員の拡大(1月～12月)に関する件②JCだよりの発行(9月)に関する件③世界一大きな絵2020AICHIキックオフ in 一宮の後援名義使用に関する件④大江川クリーン作戦の後援名義の使用に関する件

**第10回理事会 10月4日(火)**

**アイプラザー一宮 第6会議室**

①会員の拡大(1月～12月)に関する件②65周年記念映像の作成(5月)の事業報告に関する件③例会の開催(11月)に関する件④社団法人大邱江北青年会議所訪韓に伴う理事長代行者の承認に関する件⑤JCI世界会議ケベック大会に伴う理事長代行者の承認に関する件

**第11回理事会 11月10日(木)**

**アイプラザー一宮 第6会議室**

①会員の拡大(1月～12月)に関する件②第43回JC青年の船「とうかい号」乗船者支援(4月～8月)の事業報告に関する件③65周年記念式典(5月)の事業報告に関する件④子どもたちの主体性を育む(6月～8月)の事業報告に関する件⑤西尾張6JC合同例会の開催(9月)の事業報告に関する件⑥出席率100%及び優秀会員の表彰(12月)に関する件⑦2016年度年会報の作成(12月)に関する件⑧卒業例会の開催(12月)に関する件⑨特別会員の承認に関する件⑩事務局冬期休暇に関する件

**第12回理事会 12月5日(月)**

**一宮商工会議所 401号会議室**

①会員の拡大(1月～12月)に関する件②オリエンテーションの開催(1月～6月)の事業報告に関する件③JCだよりの発行(9月)の事業報告に関する件④'16国の誇り創造委員会の事業予算の補正に関する件⑤会員の除名に関する件⑥'17組織図(案)に関する件⑦'17委

員会の基本方針(案)・事業計画(案)・事業予算(案)に関する件⑧

'17入会金及び会費(案)に関する件⑨'17正味財産増減予算書(案)に関する件⑩'17事業及び予算の執行に関する件⑪'17資産の管理方法(案)に関する件⑫'17顧問・相談役の承認に関する件⑬'17賛助会員の承認に関する件⑭2016年度役員選出総会の開催に関する件⑮特別会員の会員番号の変更に関する件

**第5回臨時理事会 12月28日(水)**

**株式会社土川油店 4階会議室**

①会員の拡大(1月～12月)に関する件②会員の休会延長に関する件  
**決算理事会 1月5日(木)**

**一宮商工会議所 401号会議室**

①各種大会・事業・会議への案内及び参加の促進(1月～12月)の事業報告に関する件②出向者の支援(1月～12月)の事業報告に関する件③戦略的PRによる広報活動(1月～12月)の事業報告に関する件④会員の拡大(1月～12月)の事業報告に関する件⑤全員拡大ツールの作成(1月～12月)の事業報告に関する件⑥誇れる地域創造協議会の開催(2月～11月)の事業報告に関する件⑦子どもたちの思いやりの心を育む(5月～11月)の事業報告に関する件⑧主権者としての意識醸成(6月～10月)の事業報告に関する件⑨公開例会(記念事業)の開催(7月)の事業報告に関する件⑩誇れる地域の創造(7月～10月)の事業報告に関する件⑪2017年度LOM基本資料の作成(9月～12月)の事業報告に関する件⑫例会の開催(11月)の事業報告に関する件⑬出席率100%及び優秀会員の表彰(12月)の事業報告に関する件⑭2016年度年会報の作成(12月)の事業報告に関する件⑮卒業例会の開催(12月)の事業報告に関する件⑯'16決算報告書の承認に関する件





### 定時総会

日時・場所 2016年1月29日(金) 一宮商工会議所 3階大ホール

出席者 52名

- |    |       |        |               |                                |
|----|-------|--------|---------------|--------------------------------|
| 議案 | 第1号議案 | 2015年度 | 公益社団法人一宮青年会議所 | 事業報告の承認に関する件                   |
|    | 第2号議案 | 2015年度 | 公益社団法人一宮青年会議所 | 収支決算の承認に関する件                   |
|    | 第3号議案 | 2016年度 | 公益社団法人一宮青年会議所 | 委員会・局の構成・事業計画・事業予算の変更に<br>関する件 |
|    | 第4号議案 | 2016年度 | 公益社団法人一宮青年会議所 | 正会員組織図の修正に関する件                 |
|    | 第5号議案 | 2016年度 | 公益社団法人一宮青年会議所 | 正味財産増減予算の修正の承認に関する件            |

### 第1回臨時総会

日時・場所 2016年4月19日(火) 一宮商工会議所 3階大ホール

出席者 47名

- |    |       |               |  |                       |
|----|-------|---------------|--|-----------------------|
| 議案 | 第1号議案 | 2016年度        | 公益社団法人一宮青年会議所                              | 役員組織図の変更に関する件         |
|    | 第2号議案 | 公益社団法人日本青年会議所 | 2017年度地区担当常任理事並びに公益社団法人<br>日本青年会議所 東海地区協議会 | 2017年度会長立候補推薦の承認に関する件 |
|    | 第3号議案 | 公益社団法人日本青年会議所 | 東海地区協議会                                    | 2017年度事務局開設の承認に関する件   |

### 第2回臨時総会

日時・場所 2016年8月25日(木) 一宮商工会議所 3階大ホール

出席者 48名

- |    |       |                     |
|----|-------|---------------------|
| 議案 | 第1号議案 | 2017年度役員候補者の承認に関する件 |
|----|-------|---------------------|



### 第3回臨時総会

日時・場所 2016年9月16日(金) 一宮商工会議所 3階大ホール

出席者 49名

議案 第1号議案 2017年度役員候補者の承認に関する件

### 役員選出総会

日時・場所 2016年12月20日(火) 一宮商工会議所 3階大ホール

出席者 64名

議案 第1号議案 2016年度 公益社団法人一宮青年会議所 国の誇り創造委員会の事業予算の補正に関する件  
第2号議案 2017年度 公益社団法人一宮青年会議所 組織図及び委員会・局の構成に関する件  
第3号議案 2017年度 公益社団法人一宮青年会議所 委員会の基本方針(案)・事業計画(案)・事業予算(案)に関する件  
第4号議案 2017年度 公益社団法人一宮青年会議所 入会金及び会費(案)に関する件  
第5号議案 2017年度 公益社団法人一宮青年会議所 正味財産増減予算書(案)に関する件  
第6号議案 2017年度 公益社団法人一宮青年会議所 事業及び予算の執行に関する件  
第7号議案 2017年度 公益社団法人一宮青年会議所 資産の管理方法(案)に関する件  
第8号議案 2017年度 公益社団法人一宮青年会議所 顧問・相談役の承認に関する件  
第9号議案 2017年度 公益社団法人一宮青年会議所 賛助会員の承認に関する件  
第10号議案 会員の除名に関する件

1月例会	総務・広報委員会
	<p>1月13日(水) 尾張一宮駅前ビル i-ビル シビックホール 賀詞交歓例会</p>
2月例会	渉外委員会
	<p>2月11日(木) アパホテル(名古屋錦)EXCELLENT 伊吹 2月例会</p>
3月例会	拡大・アカデミー委員会
	<p>3月1日(火) 一宮スポーツ文化センター 小ホール LOMの未来を見据え、拡大活動の重要性を伝える</p>
4月例会	広報・交流委員会
	<p>4月15日(金) アイブラザー宮 小ホール 一宮は心ひとつ！ Don't Think Feel！！</p>
5月例会	青少年共育委員会
	<p>5月29日(日) 木曾川体育館 会議室 田んぼ de アート 稲植えてい〜ね🌾</p>
6月例会	国の誇り創造委員会
	<p>6月19日(日) 尾張一宮駅前ビル i-ビル シビックホール 意識変革 ～明るい豊かな社会の実現に向けて～</p>

7月例会	国の誇り創造委員会
	<p>7月6日(水)</p> <p>一宮市民会館 ホール</p> <p><b>創立 65 周年記念事業</b>  <b>世界に誇ろう～日本人の精神性と和の心～</b></p>
8月例会	青少年共育委員会
	<p>8月20日(土)～21日(日)</p> <p>母袋温泉 アウトドアイン母袋</p> <p><b>第3回サマーアドベンチャー</b>  <b>～真夏のクリスマスツリー作り～</b></p>
9月例会	総務委員会
	<p>9月25日(日)</p> <p>すいとびあ江南 多目的ホール</p> <p><b>西尾張 6JC 合同例会</b>  <b>見方を変えれば未来も変わる</b>  <b>～明るい豊かな地域(まち)のために～</b></p>
10月例会	地域の誇り創造委員会
	<p>10月30日(日)</p> <p>オリナス一宮、オリナス一宮前広場、夢織り広場</p> <p><b>138 ハロウィングルメフェス</b>  <b>～食べよまい 地域(まち)を彩ろまい～</b></p>
11月例会	渉外委員会
	<p>11月9日(水)</p> <p>オリナス一宮 1階ホール</p> <p><b>11月例会</b></p>
12月例会	拡大・アカデミー委員会
	<p>12月8日(木)</p> <p>一宮商工会議所 大ホール</p> <p><b>卒業例会</b></p>

# 事務局

## 1. 事務局構成メンバー

専務理事 眞野 尚人

事務局次長 墨 晃大



## 2. 理事会開催報告

内容	月日	場所	内容
理事オリエンテーション	8月30日	ぎふ長良温泉ホテルパーク会議室	内容につきましては、理事会報告をご覧ください。
第1回理事候補者会議	9月 4日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第2回理事候補者会議	9月29日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第3回理事候補者会議	10月20日	株式会社森吉通運 本社会議室	
第4回理事候補者会議	11月 5日	株式会社土川油店 4階会議室	
第5回理事候補者会議	11月26日	株式会社土川油店 4階会議室	
第6回理事候補者会議	12月17日	株式会社土川油店 4階会議室	
第 1 回 理 事 会	1月20日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第 1 回 臨 時 理 事 会	1月29日	株式会社森吉通運 本社会議室	
第 2 回 理 事 会	2月10日	株式会社土川油店 4階会議室	
第 2 回 臨 時 理 事 会	2月22日	株式会社土川油店 4階会議室	
第 3 回 理 事 会	3月10日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第 4 回 理 事 会	4月 8日	株式会社土川油店 4階会議室	
第 5 回 理 事 会	5月10日	株式会社土川油店 4階会議室	
第 6 回 理 事 会	6月 6日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第3回臨時理事会	6月28日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第 7 回 理 事 会	7月 8日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第 8 回 理 事 会	8月 3日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第4回臨時理事会	9月 5日	株式会社土川油店 4階会議室	
第 9 回 理 事 会	9月 8日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第 1 0 回 理 事 会	10月 4日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第 1 1 回 理 事 会	11月10日	アイブラザー 宮 第6会議室	
第 1 2 回 理 事 会	12月 5日	一宮商工会議所 401会議室	
第5回臨時理事会	12月28日	株式会社土川油店 4階会議室	
決 算 理 事 会	1月 5日	一宮商工会議所 401会議	

<p><b>3. 他LOMとの交流</b>  公益社団法人名古屋青年会議所・公益社団法人豊橋青年会議所・一般社団法人豊田青年会議所・大韓民国社団法人大邱江北(テグカング)青年会議所が相互に発展する為、情報交換を目的に開催される会議です。  「名豊一会」  開催日:2016年2月12日  開催場所:日本料理 みなと  参加LOM:公益社団法人名古屋青年会議所  公益社団法人豊橋青年会議所  公益社団法人一宮青年会議所  会議内容:2016年度年間事業計画説明並びに質疑応答「豊一会」  開催日:2015年11月24日  開催場所:福好  参加LOM:一般社団法人豊田青年会議所  公益社団法人一宮青年会議所  会議内容:2016年度年間事業計画説明並びに質疑応答「姉妹会議」  開催日:2016年5月23日  開催場所:名古屋会議室 東新町店  参加LOM:大韓民国 社団法人大邱江北(テグカング)青年会議所 公益社団法人一宮青年会議所  会議内容:2016年度年間事業計画説明並びに質疑応答</p>	<p>第4回 2016年6月29日  湯元館  第5回 2016年8月24日  江南商工会館 1階  第6回 2016年10月25日  名古屋ガーデンパレス</p>	
<p><b>4. 公益社団法人日本青年会議所 東海地区  愛知ブロック協議会 会員会議所会議</b>  愛知ブロック協議会と愛知ブロック 33LOM の理事長で行われる会議です。</p>	<p><b>6. 最後に</b>  まず始めに、私の指導・管理不足のため2016年度が始まり早々に事務局長不在という事態になってしまいましたことをここにお詫びさせていただきます。大変申し訳ありませんでした。それ以降は墨事務局次長や同室であります光樂渉外委員長、議案の取り纏めには浅田副理事長にと多くの方に様々な場面で助けられ何とか事務局としての役割を全うすることができたのではないかと考えております。何とか一年間を乗り切ることができましたのも土川理事長を始めとする理事会構成メンバーの皆様、そしてLOMメンバー皆様のご理解とご協力のおかげであると心より御礼申し上げます。  例年であれば正副理事長と理事の架け橋のような役割を担う事務局長が不在となったことで、正副理事長会議後の議案修正や理事との意見調整などあまり表からは分からないような繊細な場面で、この役割を担う人間が不在であることの不自由さを痛感した一年となりました。この役割の重要性に対して早く気づき早い段階から踏み込んで関わっていればもう少し円滑な運営ができたのかなと思うことが多々あり、それだけが唯一の心残りです。  そのような中、事務局としてはあまり一緒に活動することはできず色々とお教えることもできませんでしたが、理事会の設営から議事録作成など裏方の仕事をしっかりと行っていたいただきました墨事務局次長には感謝申し上げます。ありがとうございました。そして、事務局員の長谷川さんには候補者期間からずっとサポートしていただきましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。  最後になりますが、改めて2016年度の理事会構成メンバーの皆様、LOMメンバーの皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>	
<p>第1回予定者会議  第2回予定者会議  第1回会員会議所会議  第2回会員会議所会議  第3回会員会議所会議  第4回会員会議所会議  第5回会員会議所会議  第6回会員会議所会議</p>	<p>2015年10月24日  名古屋産スカイルームA室  2015年11月14日  名古屋産スカイルームA室  2016年1月31日  名古屋サンスカイルームA室  2016年3月20日  名古屋サンスカイルームA室  2016年5月7日  名古屋サンスカイルームA室  2016年7月23日  名鉄トヨタホテル 孔雀の間  2016年9月24日  名古屋サンスカイルームA室  2016年11月12日  名古屋サンスカイルームA室</p>	
<p><b>5. 西尾張6JC正副理事長会議</b>  西尾張6JCの正副理事長で行われる会議です。</p>		
<p>第1回  第2回  第3回</p>	<p>2015年12月7日  稲沢市商工会議所会館 2階 大会議室  2016年2月9日  大口町ほほえみプラザ 4F  2016年4月27日  一宮地場産業ファッションデザインセンター  第1会議室</p>	

# 渉外委員会

## 1. 委員会構成メンバー

担当副理事長 眞野 尚人  
 委員長 光樂 朋尚  
 副委員長 福田 晋也  
 副委員長 三嶋啓一郎  
 委員 青山 直生  
 委員 伊藤 匠  
 委員 大島 航  
 委員 森 功一郎



## 2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者委員会	9月15日	菊水会議室	①基本方針(案)に関する件
第2回候補者委員会	10月8日	(有)珈豆珈琲フーズ 会議室	①基本方針(案)事業計画(案)予算(案)に関する件 ②事業計画1(案)に関する件 ③事業計画2(案)に関する件 ④事業計画3(案)に関する件
第3回候補者委員会	10月26日	(有)珈豆珈琲フーズ 会議室	①基本方針(案)事業計画(案)予算(案)に関する件 ②事業計画2(案)に関する件 ③事業計画3(案)に関する件 ④事業計画4(案)に関する件
第4回候補者委員会	11月16日	(有)珈豆珈琲フーズ 会議室	①基本方針(案)事業計画(案)予算(案)に関する件 ②事業計画2(案)に関する件 ③事業計画3(案)に関する件 ④事業計画4(案)に関する件 ⑤事業計画5(案)に関する件
第5回候補者委員会	12月3日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①事業計画1(案)に関する件 ②事業計画5(案)に関する件
第1回委員会	1月7日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①組織図の変更に関する件 ②事業計画1について ③事業計画5に関する件 ④事業計画6に関する件
第2回委員会	2月1日	アパホテル<名古屋錦>EXCELLNT 4階 伊吹	①事業計画1に関する件 ②事業計画6に関する件
第3回委員会	2月25日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①事業計画1に関する件 ②事業計画6に関する件 ③事業計画5の事業報告に関する件
第4回委員会	3月24日	一宮スポーツ文化センター 第5会議室	①事業計画1に関する件 ②事業計画5の事業報告に関する件
第5回委員会	4月26日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①事業計画1に関する件 ②事業計画2の事業報告に関する件
第6回委員会	5月25日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①事業計画1に関する件 ②事業計画2の事業報告に関する件
第7回委員会	6月27日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①事業計画1に関する件
第8回委員会	7月19日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①事業計画1に関する件 ②事業計画7に関する件
第9回委員会	8月26日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①事業計画1に関する件 ②事業計画7に関する件
第10回委員会	9月16日	(公社)一宮青年会議所 事務局	①事業計画1に関する件 ②事業計画7に関する件

第 1 1 回 委 員 会	10 月 24 日	( 公 社 ) 一 宮 青 年 会 議 所 事 務 局	①事業計画 1 に関する件	②事業計画 6 の事業報告に関する件
第 1 2 回 委 員 会	11 月 22 日	( 公 社 ) 一 宮 青 年 会 議 所 事 務 局	①事業計画 1 に関する件	②事業計画 7 の事業報告に関する件
第 1 3 回 委 員 会	12 月 13 日	( 公 社 ) 一 宮 青 年 会 議 所 事 務 局	①事業計画 1 に関する件 ③事業計画 4 の事業報告に関する件	②事業計画 3 の事業報告に関する件 ④事業計画 7 の事業報告に関する件



### 3. 事業報告

#### ①事業計画 1

##### 会員の拡大(1月～12月)

本年度、渉外委員会は、ともに挑戦する心を育み、LOMの資質向上させるために新たな会員拡大を行ってきました。渉外委員会として、精一杯会員の拡大、JC運動の拡大に力を注いできましたが、良い返事がいただけなかったことに関して、心からお詫び申し上げます。しかしながら、次年度以降も積極的な拡大活動に邁進してまいりたいと思います。最後の最後まで、拡大活動を積極的に行っていました委員会メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### ②事業計画 2

##### 第43回JC青年の船「とうかい号」乗船者募集(1月～3月)

本年は3名の一般乗船者を輩出することができました。尾西信用金庫様、株式会社のいり様、社会情勢が不安の中、乗船者を輩出していただき、また、社員様の貴重なお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。乗船者が目標人数の5名に届かず、3名となってしまったことは残念でありませんが、輩出に向けてご多用の中、尽力していただきました委員会メンバーの皆様にご感謝申し上げます。他団体でのPRの時間をいただけ、お話をさせていただきましたことは、非常に良い経験となりました。ありがとうございました。

#### ③事業計画 3

##### 各種大会・事業・会議への案内及び参加の促進(1月～12月)

京都会議から始まりました2016年度の各種大会・事業・会議に多数のメンバーにご参加いただきまして、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

2016年度渉外委員会といたしましては、メンバー各々が、各種大会・事業・会議へ目的をもっていただき、参加をしていただくことができました。また渉外委員会が各種大会・事業・会議を通じて、新たな「出遇い」の場を提供させていただくことができました。各種大会・事業・会議の目的を伝えることによって、積極的にセミナー・フォーラムに参加していただけたと思っております。各種大会・事業・会議に参加し、ピクスケールの大会・事業・会議に触れたことにより得られる経験・知識は、きっと今後の青年会議所活動に役に立つのではないのでしょうか。そして、自身の成長こそが今後のLOMの成長につながっていくと思います。1年を通じてLOMメンバーの皆様のご協力によりまして、本事業が無事に終わりましたことを重ねてではございますが御礼申し上げます。

#### ④事業計画 4

##### 出向者の支援(1月～12月)

「出向者を思い利他の精神で出向者の支援をする」という目標を掲げ、2016年度渉外委員会は出向者の支援を行ってまいりました。出向者の立場に立って、出向者がどのような支援をして欲しいのか、出向者は何を必要としているのか、私たちは何ができるのか、ということ常日頃より考えながら出向者支援をさせていただきました。本年度は公益社団法人日本青年会議所 国際グループ 世界に貢献する日本創造会議の議長を一宮青年会議所から輩出するという点で、出向者の支援という点においては非常に重要な担いがある年でした。日本青年会議所8名、東海地区協議会3名、愛知ブロック協議会12名の計24名の出向者のために思い、利他の精神で出向者支援を行ってまいりましたが、支援が行き届かなかった点、至らぬ点がございましたこと、心よ

りお詫び申し上げます。また、ご多用の中にもかかわらず、出向者報告書を快くご提出いただきましたこと、心より御礼申し上げます。出向者の皆様、ありがとうございます。LOMメンバーの皆様、1年間を通じて、出向者支援にご理解、ご協力を賜りましたことに対しまして、篤く御礼申し上げます。ありがとうございました。

#### ⑤事業計画 5

##### 例会の開催(2月)

##### 開催場所: アパホテル<名古屋錦>EXCELLNT

本年度2月例会は、2部構成にさせていただきました。第1部では、「出向者の運動をメンバーに明確に伝える」という目的で、出向者毎の代表者が①出向先での事業②意気込み③LOMに活かそうなこと④依頼事項・PRの4点につきまして、お話をさせていただきました。限られた時間の中、各出向者の代表の皆様におかれましては、こちらの無理なお願いや趣旨をご理解いただきまして、メンバーに対し分かりやすく簡潔にお話しただけしたこと誠に感謝申し上げます。また、出向者の皆様におかれましては、突然の振りにもかかわらず臨機応変に、ひとりひとり出向の意気込みを語っていただきましたこと、メンバー皆様により想いが伝わったのではないかと思います。出向者の皆様、ありがとうございます。第2部では、「各種大会・事業・会議の意義を知り、参加意識を高める」という目的のもと、各種大会・事業・会議にちなんだ〇×クイズ及び各種大会・事業・会議の説明・解説を行わせていただきました。〇×クイズではメンバーの興味を引き、少しでも自ら各種大会・事業・会議について知ろうという意欲が湧くような、またその地に赴いてみたいと思うような問題とさせていただきます。クイズの解説とともにその意義を説明することで、メンバーには各種大会・事業・会議に参加することの重要性を理解していただけたのではないかと考えております。また、クイズをポイント制にし、成績が良かった方、悪かった方に渉外委員会から設えを用意することにより、1年間を通じて、各種大会・事業・会議にLOM全体で関わっていくことを示すことができたのではないかと考えております。出向者の皆様、例会にご参加いただきましたLOMメンバーの皆様本当に感謝申し上げます。また、例会の開催にあたり、最後までお付き合いいただきましたスタッフ&委員会メンバーの皆様には本当に御礼申し上げます。ありがとうございました。

#### ⑥事業計画 6

##### 第43回JC青年の船「とうかい号」乗船者支援(4月～8月)

第43回JC青年の船「とうかい号」が6月5日から6月12日までの8日間の航海を無事終えられ、当LOMより輩出いたしました3名の一般乗船者の皆様は充実した洋上研修を終えられました。「とうかい号」の趣旨にご賛同いただき、社員様を8日間という長い間「とうかい号」に快くご輩出していただきました、株式会社のいり様、尾西信用金庫様におかれましては、心より感謝申し上げます。一般乗船者の皆様におかれましては、乗船決定後、4月3日の愛知ブロックオリエンテーションから始まり、帰港するまで約3ヵ月間、ご多用の中、各種事業に積極的に参加していただきました。帰港式で拝見しました乗船者の顔が出航前と比べて一段と凛々しく変化した姿が非常に印象的でした。この歴史と伝統のある「とうかい号」の事業をLOMメンバー全員で把握し、他人ごとではなく自分のこととして、積極的に参加して乗船者を支援していただけるように、しっかりと



反省をし引き継ぎを行っていきたいと思います。メンバーの皆様におかれましては、「とうかい号」の各種事業にご参加いただき、一般乗船者に対して支援いただきましたこと、本当に感謝しております。そして、私の不手際で至らぬ点多々あったのにも関わらずサポートしていただきました委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

#### ⑦事業計画 7

例会の開催(11月)

開催場所:オリナス一宮

2016年度11月例会では、挑戦する心を育み、人間力を高め、LOMの資質向上を目指す目的として開催させていただきました。出向者の皆様が1年間の出向活動を通じて得ることができた気づきや学びを会員に伝えることによって、メンバーの新たな挑戦する心を育ませていただきました。出向者の皆様におかれましては、事前の打ち合わせから、出向写真の提供、当日の報告に至るまで、ご多用の中であるにもかかわらず、快く承諾していただき、ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。事前準備の不足により、設営に不備が多々ありましたことを心よりお詫び申し上げます。事前準備の大切さを学ばせていただきました。出向者の皆様はもとより、ご参加いただきましたLOMメンバーの皆様にも心より御礼申し上げます。皆様のご協力なくして本例会を行うことはできませんでした。そして、最後まで私を支えていただきました委員会メンバーの皆様、また最後まで私のやりたいことを理解していただけました委員会スタッフの皆様にも御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

#### 4. 最後に

本年、渉外委員会は、7名のメンバーと担当副理事長を含め8名で活動させていただきました。

第1回の候補者委員会の初顔合わせを100%委員会にてスタートできたことに大変嬉しかったことを今でも鮮明に覚えております。入会2年目で渉外委員長という大役を引き受けさせていただきました。本当にできるのかと自分自身悩んだこともありました。しかしながら、委員長を受けさせていただいた以上、最後までやり通すという意気込みを以って1年間渉外活動に励んでまいりました。サポートしていただきましたスタッフの皆様、委員会の皆様のお蔭をもちまして、2016年度を無事に終了することができました。これも私一人の力ではなく、委員会メンバーをはじめ、LOMメンバーの皆様、周りにいて支えていただきました有縁の方々がいたからこそだと思っております。本当に皆様、1年間ありがとうございました。

# 総務委員会

## 1. 委員会構成メンバー

担当副理事長 森 一彦  
 委員長 山岡 大介  
 副委員長 白木 文章  
 副委員長 広瀬 和義  
 幹事 田中 克和  
 委員 岩田 祐治  
 委員 坂井 純子  
 委員 森 彩樹



## 2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者委員会	9月16日	菊水 会議室	①基本方針案について
第2回候補者委員会	10月8日	森吉通運株式会社 会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画2案について
第3回候補者委員会	10月23日	森吉通運株式会社 会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画2案について
第4回候補者委員会	11月10日	森吉通運株式会社 会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画2案について ⑤事業計画5案について ⑥事業計画6案について
第5回候補者委員会	12月8日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1案について ②事業計画5案について ③事業計画6案について ④事業計画7案について
第1回委員会	1月7日	森吉通運株式会社 会議室	①組織図の変更について ②事業計画1について ③事業計画5について ④事業計画6について ⑤事業計画7について
第2回委員会	1月28日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画2決算について ③事業計画7について
第3回委員会	2月24日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画2決算について
第4回委員会	3月22日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画2決算について
第5回委員会	4月20日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画5決算について ③事業計画6決算について
第6回委員会	5月17日	公益社団法人一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画8について ③事業計画9について
第7回委員会	6月8日	公益社団法人一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画8について ③事業計画9について
第8回委員会	7月14日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画7決算について ③事業計画8について ④事業計画9について
第9回委員会	8月9日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画7決算について ③事業計画10について ④事業計画11について
第10回委員会	9月15日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画7決算について ③事業計画10について ④事業計画11について
第11回委員会	10月13日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画7決算について ③事業計画8決算について ④事業計画10について ⑤事業計画11について
第12回委員会	11月17日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について
第13回委員会	12月19日	森吉通運株式会社 会議室	①事業計画1について ②事業計画9決算について ③事業計画10決算について ④事業計画11決算について

### 3. 事業報告

#### ①事業計画1 会員の拡大 (1月～12月)

総務委員会では、公益社団法人として継続的に活動し、発展していくためにという目的のもと、会員拡大に取り組みました。このような表現が適切であるかどうか疑問もありますが、会員の拡大はすなわち会費収入の増加であり、組織の継続、発展に直結します。

そのように重要な会員拡大であります。総務委員会としては、委員会において拡大候補者を挙げて協議をするなどして参りましたが、1名を拡大したのみで目標の2名には届かず、また、私自身は会員を拡大することができませんでした。会員拡大に積極的に取り組んでいただいた委員会メンバーの皆様には感謝申し上げます。目標に達しなかった点につきましては、私の力不足によるものであり、大変ふがいなく、申し訳なく感じております。

#### ②事業計画2 賀詞交歓例会の開催 (1月)

メンバーの皆様方のお力添えのおかげで、賀詞交歓例会を開催し、関係者、関係諸団体の皆様、理事長所信を力強く発信し、65周年を迎えた一宮青年会議所の活動方針をお示しすることができました。65周年という記念の年に、スタートからつまずくわけにはいかない。これを合い言葉に、総務委員会一同、関係者、関係諸団体の皆様、一宮青年会議所は地域のためにともに活動するにふさわしい団体であると認識していただくべく、手抜かりのないしっかりとした設営を目指して、入念に事前の準備に取り組んで参りました。しかしながら、賀詞交歓例会においては、配付資料に関する不手際をはじめ多くの不手際があり、皆様にご迷惑をおかけすることになってしまいました。これらはいずれも、私が事前になすべき確認、検証をしていれば防げたミスであり、入念な準備と申し上げながらこのような有様となったことは汗顔の至りです。誠に申し訳ございません。

しかしながら、そのような中でも予定どおり賀詞交歓例会を終えることができましたのは、委員会メンバーをはじめ、皆様方にお支えいただいたからにほかなりません。皆様にご担当いただいた持ち場では、大小さまざまな問題があったことと思いますが、皆様に臨機応変に対処していただいたおかげで、司会台の私は、司会に集中させていただくことができました。皆様にお支えいただいてその場に立っているということ、あれほど実感したことはありません。あらためて皆様にお礼申し上げます。

開催場所：尾張一宮駅前ビル (i-ビル) シビックホール

#### ③事業計画3 総務・財務の管理運営 (1月～12月)

総務委員会では、公益社団法人として適切な運営、特に、適切な財務管理が行われるよう留意して、総務・財務の管理運営に取り組んで参りました。本年度は、65周年記念事業を実施するに際して特定費用準備資金を取り崩すという特殊事情があり、予算編成等に際しては、公益事業費率、収支相償、遊休資産の保有制限等の準則を順守するよう留意しました。

しかしながら、事業を実施する委員会の収支予算、決算につき、個人事業主への報酬支払に伴う所得税等の源泉徴収に関する取扱いなど、事前に適切な助言等ができず、混乱を招いてしまったところもあり、より適宜、適切な助言等を行うことができたのではと反省しております。

#### ④事業計画4 組織・活動の検証 (1月～12月)

総務・財務の管理運営を通じて組織・活動を検証した結果、痛感したところは、公益事業費率を維持しつつ組織、活動を維持するためには、相応の収入が必要であるということです。そこで、外部資金の導入について検討しましたが、クラウドファンディングに関しては不確実性が高く、また、広告料収入に関しては広告媒体として魅力的であることが前提となるなど、いずれも難点があることから、取り得べき手法として、民間助成金の活用を検討しました。民間助成金に関しても不確実性等の課題があり、それを解消して実際に活用する道筋をつけるまでに至らなかったことは反省点です。

#### ⑤事業計画5 2015年度年会報の発行 (3月)

原稿を作成していただいた皆様、原稿を取りまとめいただいた森大介 2015年度総務・広報委員長をはじめとする皆様のおかげで、2015年度年会報を発行することができました。

年会報の発行につきましては、私のスケジュール管理が不十分であったために掲載時期が予定より遅れてしまいました。結果、ご多忙な皆様に時間を割いてご作成いただいた年会報が公開される期間がそれだけ短くなってしまい、申し訳なく思っております。

#### ⑥事業計画6 2016年度年会報の発行・発送 (3月)

メンバーの皆様、期限までに確認作業等をしていただいたおかげで、3月中旬に LOM 基本資料を発行することができました。

しかしながら、予定していた発行日より若干遅れての発行となり、加えて、特別会員予定者のお名前の誤りなど、あってはならない誤りが生じてしまいました。私の確認不足、管理ミスによりお名前を間違えるなどしてしまった皆様に、この場をお借りして心よりお詫び申し上げます。

#### ⑦事業計画7 65周年記念式典の開催 (5月)

メンバーの皆様のおかげで、65周年記念式典を執り行うことができ、関係者、関係諸団体の皆様に理事長のお言葉をお伝えし、一宮青年会議所が歴史と伝統を継承しつつ、この先70年、80年と活動をつなぎ、より地域から必要とされるよう発展していくという思いを、覚悟を示すことができました。

しかしながら、65周年記念式典では、姉妹 JC からの記念品贈呈に際しての不手際を始めとして、多くの不手際がございました。不手際の原因、理由を省みますと、全ては私の準備不足に起因しております。本来、周年記念式典は、前年より準備委員会等を設置して準備すべきものであるということで、もっと前から準備に取りかかっていたら、きちんとスケジュール調整をして、もっとリハーサルの時間を確保していれば、ミスを見落とすこともなかったかも知れない。そのように考えると、忸怩たる思いです。当日、私自身が慌ただしく走り回っていたことが、端的に準備不足であったことを物語っていたと思います。特に厳粛に執り行われ、一宮青年会議所の姿勢を示すべき記念式典であったにも関わらず、多くの不手際があったことを誠に申し訳なく思っております。せめて、今回の反省はしっかりと記録し、70周年時に引き継いでいきたいと考えております。

そのような状況ではありましたが、65周年記念式典

を執り行うことができましたのは、冒頭申し上げたとおり、皆様のお力添えのおかげです。事前のご説明も不足する中、それぞれの持ち場で適切に対応いただいた皆様には、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

開催場所：アイプラザ一宮 講堂

#### ⑧事業計画 8 西尾張 6JC 合同例会の開催 (9 月)

西尾張 6JC 合同例会の共催により、一枚岩と称される西尾張 6JC の絆と友情をさらに深めることができました。また、式典の部において行われた次年度理事長のご挨拶により、西尾張 5JC の皆様に、次年度の活動のスタートを示すことができました。次年度、東海地区協議会の事務局を担うに際し、西尾張 6JC の絆と友情を深めることができたことは、有意義なことであったと考えております。

しかしながら、事前の告知に関しては、十分な成果を上げたとは言えない状況にあります。主管 LOM である一般社団法人江南青年会議所様から、一般参加者の募集に協力してほしい等の申入れがない状況ではありましたが、Facebook への告知記事の掲載の仕方を工夫する等、より効果的な一般参加者の募集を行い、主体的により多くの一般参加者を募集すべきであったと反省しております。

告知等が必ずしも十分ではなかった中、式典、講演を通して、西尾張 6JC 合同例会が無事に開催され、多くのメンバーにご参加いただいたことは、大変ありがたいことと感じております。ご多忙中に西尾張 6JC 合同例会にご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

開催場所：すいとびあ江南 多目的ホール

#### ⑨事業計画 9 2017 年度 LOM 基本資料の作成 (9 月～12 月)

LOM 基本資料の記載内容の変更に関する照会に迅速にご回答いただいた皆様のおかげさまで 2017 年度 LOM 基本資料の発行、発送に必要な情報の確認、更新を行うことができました。

2017 年度 LOM 基本資料は、メンバーの連絡先、定款諸規程等、2017 年度の活動に必須の情報が記載された重要なツールです。今回ご提供いただいた情報をしっかりと次年度総務委員会に引き継ぎ、正確な LOM 基本資料を発行していただけるよう努めて参ります。

#### ⑩事業計画 10 出席率 100%会員及び優秀会員の表彰 (12 月)

年末のご多用中にもかかわらず、優秀会員表彰にご投票いただきましたメンバーの皆様、誠にありがとうございます。また、委員会の貴重なお時間を頂戴し、投票のご案内をさせていただきました各委員長様にもお礼申し上げます。ありがとうございました。

本年度は、担当副理事長の指導のもと、初めて投票フォームを作成しての投票を行いました。その結果、手軽に投票できるとのお声を頂戴し、多くのメンバーにご投票いただくことができました。多くのメンバーにご投票いただき、ご参加いただくことは、優秀会員の表彰を通してメンバーの参加意識、参加意欲を高めるという本事業の目的にかなうことであり、大変うれしく思います。しかしながら、全メンバーにご投票いただくまでには至りませんでした。せっかく手軽に投票できる仕組みを用意したのだから、あと少し、より多くのメンバーにご投票いただく工夫をする余地があったのではないかと反省

しております。

今回は、優秀会員に選出された皆様には、次年度以降の活動においても、優秀会員として表彰されたことを誇りに、積極的に、皆の模範となるように活動していただきたいという思いから、記念品としてポロシャツをご用意しました。今回表彰させていただいた皆様が、記念品を着用し、次年度以降も積極的に活動していただけたら、私にとって望外の喜びであります。

#### ⑪事業計画 11 2016 年度年会報の作成 (12 月)

メンバーの皆様へ原稿を作成していただいたおかげで、2016 年度年会報を作成し、次年度に引き継ぐことができます。今回作成した年会報はしっかり次年度へと引き継ぎたいと思います。年会報が次年度以降の活動の助けになることを願ってやみません。

しかしながら、提出のお願いを複数回行ったものの、全ての方に期限内に原稿を提出していただくことはできませんでした。これはひとえに私が、原稿の作成をお願いする際に、年会報を作成していただく意義を十分にお伝えできなかったためであると思います。年会報は、対外的には事業報告、情報公開という意義を備え、また、対内的には、メンバーの皆様へ本年度の活動を見つめ直していただくとともに、次年度以降の活動に際して参照するという意義がございます。単に原稿の提出をお願いするだけでなく、年会報にはこのような重要な意義があるということも十分にお伝えすべきであったと反省しております。

## 4. 最後に

本年度、総務委員会は、例年実施される事業に加えて 65 周年記念式典の開催を担ったため、ほぼ毎月理事会に上程する議案があり、ほぼ毎月何らかの作業をしているという慌ただしい状況にありました。

それが原因であると言いつけるわけにも参りませんが、65 周年記念式典等では、先に申し上げたような準備不足に起因する不手際もございました。そのような不手際については、ただ不手際があったで終わらせることなく、しっかりと顧みて、来る 70 周年に備えて継承していきたいと考えており、それが本年度総務委員会の委員長を拝命した私の責務であると感じております。

最後に、上記のように慌ただしい状況にあり、負担をかけることも多かったにもかかわらず、私とともに 1 年間活動していただいたスタッフの皆様、委員の皆様には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。また、物事を悲観しがちな私を常に楽観的に導いてくださった担当副理事長にもお礼申し上げます。ありがとうございました。

1. 委員会構成メンバー

担当副理事長 森 一彦  
 委員長 伊藤 基児  
 副委員長 河尻 祐志  
 副委員長 西岡 信幸  
 幹事 梯 大将  
 委員 酒井 真一郎  
 委員 森 大介



2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者委員会	9月 16日	菊 水 会 議 室	①基本方針案に関する件
第2回候補者委員会	10月 8日	森吉通運 株式会社 会議室	① 基本方針案・事業計画 ②事業計画 2 案に関する件 案・予算案に関する件
第3回候補者委員会	10月 26日	森吉通運 株式会社 会議室	① 基本方針案・事業計画 ②事業計画 2 案に関する件 案・予算案に関する件 ③事業計画 5 案に関する件
第4回候補者委員会	11月 13日	森吉通運 株式会社 会議室	① 基本方針案・事業計画 ②事業計画 2 案に関する件 案・予算案に関する件 ③事業計画 5 案に関する件
第5回候補者委員会	12月 4日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 案に関する件 ②事業計画 4 案に関する件 ③事業計画 5 案に関する件
第 1 回 委 員 会	1月 7日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 4 に関する件 ③事業計画 5 に関する件
第 2 回 委 員 会	1月 27日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画1に関する件 ②事業計画 4 に関する件 ③事業計画 5 に関する件
第 3 回 委 員 会	2月 22日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 4 に関する件
第 4 回 委 員 会	3月 24日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件 ③事業計画 3 に関する件 ④事業計画6に関する件
第 5 回 委 員 会	4月 20日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件 ③事業計画 3 に関する件 ④事業計画 6 に関する件
第 6 回 委 員 会	5月 18日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件 ③事業計画 3 に関する件 ④事業計画 6 に関する件
第 7 回 委 員 会	6月 22日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件 ③事業計画 4 の事業報告に ④事業計画 6 に関する件 関する件
第 8 回 委 員 会	7月 11日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件 ③事業計画 6 に関する件
第 9 回 委 員 会	8月 22日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件 ③事業計画 6 に関する件
第 1 0 回 委 員 会	9月 17日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件 ③事業計画 5 の事業報告に 関する件
第 1 1 回 委 員 会	10月 18日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件
第 1 2 回 委 員 会	11月 21日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画 1 に関する件 ②事業計画 2 に関する件 ③事業計画 6 の事業報告に 関する件

第 1 3 回 委 員 会	12月14日	森吉通運 株式会社 会議室	①事業計画1に関する件	②事業計画2の事業報告に関する件
---------------	--------	---------------	-------------	------------------

### 3. 事業報告

#### ①事業計画 1

会員の拡大(1月～12月)

当委員会では広報の仕事とリンクをさせて拡大活動に力を注いでまいりました。

地域の人たちとの繋がりを構築していくことが、拡大にも繋がっていくと信じ、街頭でのアンケートや公開例会に参加していただいた方と接する機会を増やし一宮青年会議所のファンになってもらえるように拡大活動を行ってまいりました。

しかしながら、当委員会からは一名のみの拡大に留まり、不甲斐ない結果に終わり残念でなりません。

ですが、地道な広報活動がいつか拡大へ実を結ぶことを次年度へ引き継いでいきたいと思ひます。

そして拡大活動に多大な協力をしていただきました委員会メンバー・スタッフに感謝申し上げます。

#### ②事業計画 2

戦略的 PR による広報活動(1月～12月)

広報・交流委員会の二つの柱の内の一つの「地域とのつながり」を構築するべく広報活動を行ってまいりました。

まず候補者段階の時点から一宮青年会議所の認知度調査を行い現状の問題点の洗い出しを行いました。結果として考えていた程の数字ではなく、発信するだけの広報から情報を受け取る側の立場に立った広報をすることで地域の人たちにとって必要とされる団体になると考えました。

最初の取り組みとして広報が管理・運営する一宮青年会議所のホームページを訪れていただいた方が分かりやすく興味を持ってもらえるようにデザインの変更を行いました。また Facebook とリンクさせ効率化を図りました。

公開例会、公開事業において戦略的 PR の一環として広報戦略会議を担当委員会と行い、チラシの配布場所やターゲットの絞り込みを話し合い、効率的に広報ができるよう努めました。また、例年ホームページや SNS では事業報告としての役割が多くみられましたが、開催案内や雑誌掲載情報など事業を行う前段階からの告知により集客の面での活用を模索いたしました。それに伴い、受付時に口頭アンケートを実施し、どのアプローチによって参加をしていただいたかを調査いたしました。

創立 65 周年記念映像の放映に関しましてケーブルテレビ ICC のご協力のもと平成 28 年 9 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日まで週 3 回にわたり放映をしていただきました。テレビという幅広い年齢層へ土川理事長のメッセージを発信しました。

本年は新たな方法での広報をおこなってまいりましたが、一方でメディアへの積極的なアプローチに手が回らず、一宮青年会議所の魅力を十分に発信することができず、反省すべき点だと感じています。広報はその年により違う方法をとっていくと思ひますが、効率を重視し SNS に頼るだけでは一宮青年会議所のファンになってもらうことはできないと思ひます。

「地域とのつながり」を構築する地道な活動の積み重ねにより、支持を増やし一宮青年会議所が地域から必要とされる団体へとなることの重要性を次年度に引き継いでいきたいと思ひます。

一年間を通して、広報活動に携わりいただきましたメンバーに、そして広報・交流委員会のメンバーに広報担当委員長としてお礼を申し上げます。

#### ③事業計画 3

姉妹 JC との交流(1月～12月)

本年の大邱江北青年会議所の訪日は、一宮青年会議所創立 65 周年記念式典に合わせての日程でお招きいたしました。周年式典にご出席いただいた関係で親睦を深め合うまでには至りませんでした。一宮青年会議所の歴史や伝統を感じていただけたかと思ひます。

また、11 月には訪韓をさせていただき、日本とは違う文化を体験でき、そして今後も続く友情を深め合えました。

事業にご参加いただきましたメンバー、また OB の皆様方にこの場をお借りしお礼させていただきます。ありがとうございました。

#### ④事業計画 4

例会の開催(4月)

「Don't Think. Feel!! ～考えるな感じろ～」

日時：4月15日(金)

場所：アイプラザ一宮 小ホール

4月例会では、「新たな交流のかたち」を体現するものとして、昨今の青年会議所の事業において忘れ去られてしまいがちな「愉しさ」をテーマに、参加していただいたメンバーが満足する時間となるように、お互いに深く知り合い、短時間で結果の出るよう協力し合い、一人一人が責任を持ちつなげる意識でアトラクションにチャレンジすることで生まれる「心ひとつ」を体感できるよう段階を経て交流できる事業を実施させていただきました。

ただ、お互いを深く知るという点においては資料の練りこみ不足により簡単にチームが出来てしまい、メンバーの新たな一面の発見や共通項を見つけるという意図が伝わらず、「心ひとつ」の意識を体感するアトラクションにおいては脱出ゲームにスポットが当たりすぎ、アトラクションの重要性が薄れることで例会の本物の目的が伝わらなかったように思ひます。また、中途参加や早退など本来想定しておくべき事態への対応が不十分だったことなど、事業目的をより多くの方に体感していただくという点では悔やまれる部分もあったかと思ひます。これは事前の準備やリハーサルをもっとしっかりと行い、参加者視線で事業の検証を行っていれば避けられた点も多く、反省しなくてはならない部分ではないかと思ひます。

しかしながら、悔やまれる点もあったものの、事業目的であった「愉しみながらのメンバー同士の交流」という点に関しては参加頂いた多くのメンバーの皆さんに実感していただけたのではないかと思ひます。例会後の懇親会でも参加いただいたみなさんから「今までにない面白い例会だった」、「参加してよかった」、というお声を頂いたことは設営を担当した委員長として非常に嬉しく、設営段階での苦勞が報われたと感じました。

最後に委員会だけでなく一宮青年会議所メンバー全ての協力やサポートがあったからこそ例会が開催できたと思ひます。メンバーが協力しサポートしあってこそ一宮青年会議所は価値があり、大きな力を発揮できるという、この当たり前のことを自分自身心に刻み、今回の例会で終わりではなく、今後もメンバー間の心をつなぎあえるよう交流活動に取り組んでいきたいと思ひます。

最後に私の準備不足等により、至らぬ点が多々ありましたことをお詫び申し上げますとともに、私を例会準備段階から力強く支えて頂きましたスタッフ、それぞれが強い個性を発揮して事業を盛り上げて頂きました委員会メンバー



そして事業にご協力いただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました

#### ⑤事業計画 5

65周年記念映像の作成（5月）

メンバーの皆様には多大なるご理解の上、ご協力をしていただき映像作成をすることができました。誠にありがとうございました。

私の準備不足と認識の甘さからスケジュール通りに作成が進まず、式典前日まで多くのメンバーにご迷惑をおかけしましたことをこの場をお借りしまして謝罪させていただきます。申し訳ございませんでした。

しかしながら、一宮青年会議所創立65周年式典にご参加いただきました来賓、関係諸団体の皆様には、一宮青年会議所の歴史やLOMの繋がりを感じていただき、未来へ向けたメッセージを強く発信できたことは今後も続く活動に、ご理解をいただけたかと思えます。

私としましては、過去を振り返ることで一宮青年会議所の素晴らしさや歴史の重みを感じることができ、地域にとって必要な団体であると再認識させていただくとともに、この火を絶やすことのないように精一杯JC活動をしていかなければならないと実感いたしました。

最後とはなりますが、このような機会を与えていただき経験させていただいたメンバーのみなさま、そして委員会メンバーのみなさまのお力添えによりまして、周年式典で華々しく上映できましたことをお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

#### ⑥事業計画 6

JCだよりの発行（9月）

土川理事長、服部理事長候補者及び各委員長の皆様にはご多忙の中原稿作成にご協力いただき、ありがとうございました。皆様に期限内の原稿提出にご協力いただき、スケジュールどおりにJCだよりを発行することが出来ました。

本年度のJCだよりは、前年度まで実施していました対内向け、対外向けの作成をやめ、統一したデザインでの発行を選択し、より対外向けにデザインを大きく変更いたしました。それらをふまえ、街頭での配布や新たに設置場所を増やすなど、紙媒体での発行の利点を最大限に生かすとともに、引き続きホームページとFacebookで多くの方に見ていただけるようにしました。

永い歴史を持つJCだよりに新たな試みを導入しながら、一宮青年会議所の魅力を発信できたと思えます。

しかしながら、デザイン完成までの過程でしっかりとしたコンセプトが伝えられず、部分審議になってしまい理事会構成メンバーの方にはご迷惑をおかけいたしました。

一宮青年会議所の事業にすべて意味があるように、JCだよりをただ発行するだけにとどまらない工夫が必要であると感じています。JCだよりを良いものにしていくためには、業者の選定も引き継ぐことなく、委員会が考えるJCだよりを形にできる業者を選ぶべきです。

最後になりますが、原稿作成にご協力いただいた皆様、JCだよりの配布にご協力いただいた皆様、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

## 4. 最後に

本年、広報・交流委員会は、委員長である私と2名の副委員長、幹事、2名の委員メンバーと合計6名で活動してまいりました。また、同室であります総務委員会の皆様のお力も借りまして一年の担いを終える事が出来ました。一年間を通して、事業計画には表れない様々な活動を行う中で共に過ごしましたメンバーのありがたみを感じています。

ですが広報・交流委員会の委員長としては至らぬ点が多々あった活動だったと反省しております。

そして、最後まで支えていただきました担当副理事長、委員会メンバー、LOMのメンバーの皆様にお礼申し上げます。締めくくらせていただきます。

本当にありがとうございました。



# 国の誇り創造委員会

## 1. 委員会構成メンバー

担当副理事長	青山広己	委員	今西達也
委員長	倉田健嗣	委員	小川恭司
副委員長	野杵洋平	委員	小橋一慶
副委員長	平松道介	委員	鈴木晋也
幹事	川浦恭徳	委員	竹山聡
幹事	藤岡敬貴	委員	野田周平
委員	朝日健二	委員	早川彰
委員	石川昌臣	委員	平田哲也
		委員	山田崇紘



## 2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者委員会	9月16日	菊水会議室	①基本方針案について
第2回候補者委員会	10月6日	一宮スポーツ文化センター第4会議室	①基本方針案について ②事業計画案について
第3回候補者委員会	10月26日	(株) Harbor Create 会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について
第4回候補者委員会	11月13日	(株) Harbor Create 会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について
第5回候補者委員会	12月3日	一宮市民会館第3会議室	①事業計画1(案)について ②事業計画2(案)について
第1回委員会	1月9日	一宮スポーツ文化センター第5会議室	①2016年度正会員組織図について ②事業計画1について ③事業計画2について
第2回委員会	1月25日	(株) Harbor Create 会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第3回委員会	2月23日	(株) Harbor Create 会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第4回委員会	3月17日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画3について ③事業計画3について
第5回委員会	4月14日	(株) Harbor Create 会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第6回委員会	5月17日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第7回委員会	6月17日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第8回委員会	7月18日	(有) サンライト会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3 決算について
第9回委員会	8月24日	一宮スポーツ文化センター第4会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3 決算について
第10回委員会	9月14日	一宮スポーツ文化センター第4会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3 決算について
第11回委員会	10月10日	一宮勤労福祉会館第2会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3 決算について

第 1 2 回 委 員 会	11 月 22 日	一宮スポーツ文化センター第 6 会議室	①事業計画 1 について ③事業計画 3 決算につい て	②事業計画 2 決算について
第 1 3 回 委 員 会	12 月 16 日	一宮スポーツ文化センター第 6 会議室	①事業計画 1 について ③事業計画 3 決算につい て	②事業計画 2 決算について

### 3. 事業報告

#### ①事業計画1 会員の拡大 (1月～12月)

本年国の誇り創造委員会では日本人としての誇りと意識の向上についてともに活動する仲間を拡大する目的で一年間拡大活動をしました。

委員会では委員会メンバーそれぞれの拡大リストの情報共有、また対象者に対してのアプローチ等の意見交換などを話し合いしっかりと拡大活動をしてまいりましたが、目標人数には及びませんでした。拡大することと一宮青年会議所活動の発信を合わせて行ってきましたが、とても大変であることを痛切に感じました。

委員会メンバーの皆様には最後まで拡大活動にご尽力いただきましたことを心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

#### ②事業計画2 主権者としての意識醸成 (6月～10月)

公職選挙法の改正により、満18歳以上に選挙権が与えられることになった本年、6月公開例会10月公開事業「～意識変革～明るい豊かな社会の実現に向けて」を開催させていただきました。メンバーの皆さまには動員のご協力から当日のご参加にわたり心から感謝申し上げます。

我々の目指す明るい豊かな社会の実現のためには、その一つとして主権者が責任と自覚を持ち意識の向上をすることが必要であると考えました。

そのため本例会事業では、改正公職選挙法により新たに選挙権を与えられた新有権者や若年層に対して、主権者とは何か、何をすべきかを講演により伝え、主権者としての意識を少しでも高めていただくよう原田謙介氏を講師に迎え講演、意見交換などを行いました。講師選定の際にはたくさんのメンバーからご意見を頂戴しこの人選となりました。私自身選挙権はありませんが、だからこそ主権者としてこうあるべきだという強い思いで例会事業に臨むことができました。

ただ新有権者は学業やいろいろなことで週末は忙しく動員は非常に困難でした。また10月の事業は本来同対象者が目的でしたが、時期的に学生は忙しくさらに困難を強いられました。そんな中でもメンバー皆さまの多大なご協力により例会事業となんとか不足なりにも動員できたことを心より感謝申し上げます。

後日原田謙介氏からも、人数はさておき中々活発な講演となり本当に良き例会事業だったと思いますとメールをいただいたことも、来場者の意識を少しでも向上へとつなげられることができたのではないかと感じております。

しかし2回にわたり動員が達成に至らなかったことは全て事前の準備、努力不足と痛感しております。皆さまにたくさんのご協力をいただいたにも関わらず、動員で達成できなかったことを心よりお詫び申し上げます。

メンバーの皆さまにはたくさんのご意見を頂戴し動員のご協力や当日のご参加など本当に感謝の言葉しかございません。来ていただいた来場者の若者から知人へと伝播され、未来の理想の一種にはなったのではないかと感じます。

最後となりますが、本例会事業の開催にあたりご協力いただきました全ての皆さまに心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

開催場所:6月公開例会 尾張一宮駅前ビル i-ビル  
シビックホール北面

10月公開事業 尾張一宮駅前ビル i-ビル  
大会議室

#### ③事業計画3 65周年記念事業の開催(7月)

本年は一宮青年会議所創立65周年を迎えるにあたり、記念事業7月例会として「世界に誇ろう～日本人の精神性と和の心～」の開催させていただきました。メンバーの皆さまには動員のご協力から当日のご参加にわたり心から感謝申し上げます。

私たちは、これからの日本に必要なことは、日本人の古来より脈々と心の中で受け継がれてきた精神性、和の心が最も必要で、その心からなる行動により長き時間をかけて今の日本国を創り上げてきたと考えました。そのために、何かを伝えるのではなく、何かを感じさせることに重きをおき設営する必要を感じ、演奏、講演、パネルディスカッションの3部構成で行いました。講師選定から演奏楽器、パネリストの選定などたくさんのメンバーからご意見を頂戴することができました。講師や奏者の方たちと事前に打合せをする中で、私自信も日本人の精神性に強く目覚め一人でも多くの方へ伝えたい、そして一人でも多くの方たちに目覚めを感じてほしいという強い思いで、例会に臨むことができました。

ただ、有料で平日に来場者を集めることは非常に困難でした。そんな中でもチケット販売は半数を越え、来場者も販売数の7割を越えることが出来たのは、ひとえにメンバー皆さまのご協力のおかげと心より感謝するとともに、ここにも日本人の精神性を感じることができました。

しかし、800人という目標動員でありながら達成に至らなかったことは、全て私の事前準備不足及び努力不足と痛感しております。皆さまに多大なご協力をいただいたにも関わらず達成できなかったことが、残念でなりません。

後日、講師である竹田恒泰氏や和太鼓奏者の加藤拓三氏からは、例会翌日にお礼と良き会だったとメールをいただきましたことにつきましては、しっかりと趣旨にご賛同いただき同じ想いで臨んでいただけたことと感じ、本当に良かったと感じております。目標人数には達成できませんでしたが、来場者からのアンケートにも少なからず日本人で良かった、日本は素晴らしい国だ、などの記載もあったことについては良かった点と感じております。

しかし、事業目的に沿えていない点が少なからずあったことと、日本人としての意識の薄い人達への動員が不足してしまったこと、そして動員が不足してしまったことが最もではありますが、事の全ては人の想いからなるとこの例会を通して知ることができた上で、来ていただいた来場者からさらにその周りの方たちへと広がっていく一つ種にはなったのではないかと感じます。

最後となりますが、本例会開催にあたりご協力をいただきました全ての皆さまに心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

開催場所:一宮市民会館 大ホール

### 4. 最後に

本年、国の誇り創造委員会は、16名の委員会メンバーにて新有権者及び若年層に向けて、主権者としての意識の醸成、また日本人としての意識と誇りの向上を目的として1年間活動してまいりました。記念事業としての公開例会、今までにない対象年齢の公開事業例会と何をどう取り組んでいいのか不透明で立ち止まっていると必ず委員会メンバーが背中を押して支えてくれました。この委員会メンバーだからこそ委員長職をなんとかやりきることができた

痛切に感じております。どちらの内容も私個人的には全くほど遠いものだと考えていたのですが、私たちの住むこの国、この地域に国籍も年齢も関係ないのだと気づかされる一年でもありました。この一年で得た学びや気づきをしっかりと還元し少しでも恩返しとなるよう卒業までの一年間邁進したいと思えます。

最期になりますが、このような機会を与えていただきました青山担当副理事長、そしていつも側で支えて下さったスタッフの皆様、厳しくも温かく最後までご尽力いただきました委員会メンバーの皆様、このような素晴らしい経験をさせていただきましたことを心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

まち  
地域の誇り創造委員会

1. 委員会構成メンバー

担当副理事長	青山 広己	委員	伊藤 孝根	委員	東 賢吾
委員 長	坂野 伸悟	委員	尾上 宜正	委員	横山 将志
副委員 長	塚本 浩成	委員	加藤 貴恭	委員	山口 哲二
幹事	浅野 大介	委員	鈴木 強司	委員	吉田 悟
幹事	開尾 憲一	委員	鈴木 昌弘		
委員	秋田 雅之	委員	曾我 優樹		
委員	石川 佳照	委員	林 辰徳		



2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者委員会	9月16日	菊水会議室	①基本方針案について
第2回候補者委員会	10月6日	一宮スポーツ文化センター会議室	①基本方針案について ②事業計画案について
第3回候補者委員会	10月26日	アウルハウス会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について
第4回候補者委員会	11月16日	アウルハウス会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について
第5回候補者委員会	12月3日	アウルハウス会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画2案について
第1回委員会	1月7日	アウルハウス会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第2回委員会	1月28日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第3回委員会	2月22日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第4回委員会	3月14日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第5回委員会	4月18日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第6回委員会	5月18日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画3について
第7回委員会	6月23日	(有)青山造園会議室	①事業計画1について ②事業計画3について
第8回委員会	7月13日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画3について
第9回委員会	8月24日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画3について
第10回委員会	9月15日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第11回委員会	10月20日	アウルハウス会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第12回委員会	11月22日	アウルハウス会議室	①事業計画1について ②事業計画2事業報告につ ③事業計画3事業報告につ いて
第13回委員会	12月22日	一宮青年会議所事務局	①事業計画1について ②事業計画2事業報告につ ③事業計画3事業報告につ いて

### 3. 事業報告

#### ①事業計画1 会員の拡大(1月～12月)

本年、地域の誇り創造委員会では、誇れる地域の創造に向けて、ともに活動する会員の拡大をする。という目的のもと1年間活動してまいりました。毎月、委員会メンバーから拡大対象者のリストアップを行い、例会、事業にお誘いをして青年会議所活動を知っていただき、ともに活動していただけるようにフォローアップもしてきました。その活動に賛同し、入会の意志をいただくことができた拡大対象者もいましたが、今年度入会には至りませんでした。結果として目標人数5名に対し、入会者0名と、目標人数まで達成できなかったことは大変残念で、申し訳ないと思っております。今年度、入会まで至らなかった拡大対象者においては引き続き、アプローチを重ねていき、次年度も引き続き活動していきたいと思っております。

#### ②事業計画2 誇れる地域の創造協議会の開催(2月～11月)

この地域のことを想う人たちとのつながりをもって活動し、「地域のブランド」の魅力を高めるといった目的のもと、事業計画3において共催していただく一宮法人会様や、一宮市役所経済振興課様、修文大学様、一宮商工会議所様、そして一宮メシ『一宮どてカラ井』提供店の皆様、この地域の未来を強く想う方々と事業計画3で行う138ハロウィン・グルメフェスの方向性や『一宮どてカラ井』をどのようにして『一宮メシ』にしていけるのかについて議論を交わしてまいりました。そして協議会を重ねていく中で、他団体のイベントタイムスケジュールの調整ができ、また『一宮どてカラ井』の広め方や、これからの方向性について十分に議論できたと思っております。やはり、青年会議所だけの考え方で事業を構築していくのではなく、実働で『一宮メシ＝一宮どてカラ井』を提供しているオーナーの皆様の声は、より積極的な意見や、営利的な意見が頂け、これからの『一宮メシ』の確立にはなくてはならない意見をたくさんいただきましたので、次年度以降にしっかりと引き継いでいきたいと思っております。また最後の協議会では、参加者の方にも、協議会の場を作ってもらいありがとうございましたと感謝の声も頂き、誇れる地域の創造協議会の開催は実りある会議であったと確信しております。

開催場所:尾張一宮駅前ビル 6F 小会議室

#### ③事業計画3 誇れる地域の創造(7月～10月)

「138 ハロウィン グルメフェス～食べよまい 地域(まち)を彩るまい～」と題した公開事業・公開例会を開催しました。

#### 7月公開事業 地域の魅力発信!! ～ALL ICHINOMIYA～

おりもの感謝祭一宮七夕まつり会場にて広告うちわの配布し、織物クラフト体験を通して、多くの市民の方に一宮の地域資源について知って頂きました。また会場には羊毛から繊維になるまでの工程パネルの設置や「一宮どてカラ井マップ」を展示し、地域のブランドについてPRをしました。昨年、誕生したハロウィンキャラクターの名前を300名の方々に投票していただき、投票者に限り両日16:00よりミニどてカラ井を先着150名様(計300名)に無料配布し、どてカラ井の認知を向上し、10月の138ハロウィン・グルメフェスについて、しっかりと今後の事業の説明ができました。

#### 8月公開事業 地域の魅力発信!! ～ALL ICHINOMIYA～

地場産業である羊毛をいろいろな色に染色するを体験し、一宮で染色された羊毛を使用して、10月のハロウィンを連想させるようなテーマを持って貼り絵を行いました。地場産業の一端を経験し、その工程を知ることで、地域への愛着を育み、また貼り絵を楽しむことで、10月に行う138ハロウィン・グルメフェスについて、しっかりとPRをすることができました。

開催場所:一宮スポーツ文化センター スポーツフロア  
料理室

#### 10月公開例会

「138 ハロウィン🍁グルメフェス～食べよまい 地域を彩るまい～」

夢織り広場にてどてカラ井提供店から出店して頂き、全10店舗を設営し、グルメフェスを開催し、JCブースにてミニどてカラ井の提供し、どてカラ井の魅力を発信しました。またオロナス一宮前広場(葵公園)にてをおりものクラフト、世界に誇る『尾州』体験、尾西信用金庫様(ひつじカレー物販)、一宮法人会様(税金クイズ)の各ブースを設置しました。また本町4丁目から三八広場、そして最終地点にオロナス一宮前広場(葵公園)まで、先導車を先頭にパレードを行いました。

おりものを身に纏い地域を練り歩き、普段の興味のない市民に興味を湧かせ、認知度を高め、参加者には地域資源である地域資源(おりもの)を使用した集団仮装体験を行っていただきました。また、「いちみん」も羊毛仮装し参加しました。一宮だいたいフェスタ大集合 for Halloween2016に参加し、市民とともに地域資源を使用したおりものパレードを開催しました。

7月の公開事業から始まり、延べ2530名の市民の方々に参加頂き、地域のブランドについて、昨年の事業に付加価値を高めたアプローチを行い、地域資源の体験プログラムからパレードまで様々な経験をして頂きました。事業では大きなトラブルも無く、地域が笑顔で溢れていた光景から地域への誇りと愛着が育まれたのではないかと確信しております。

LOMメンバーの皆様には、計4日間にわたり地域のブランドの確立に向けて協力頂き、心より感謝申し上げます。長期にわたり、事業を展開できたのも、LOMメンバーの皆様のお支え、ご協力があったからこそ、事業の目的が達成できたと考えております。

開催場所:オロナス一宮、オロナス一宮前広場、夢織り広場  
本町2丁目～4丁目 アークード歩道部

### 4. 最後に

本年、地域のブランドを確立していくため、ほぼ毎週のように集まって意見を交わした委員会スタッフ、メンバーの皆様、たくさんのご意見、ご指導をいただきました理事会構成メンバーの皆様、例会事業で大変な活動をしていただきました土川理事長を始めLOMメンバーの皆様にご心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



# 青少年共育委員会

## 1. 委員会構成メンバー

担当副理事長	浅田 佳寿優	委員	神林 亮
委員長	大野 陽平	委員	窪 照明
副委員長	青木 俊宏	委員	杉村 泰地
副委員長	石黒 秀幸	委員	杉山 健太郎
幹事	坂井 大輝	委員	中村 有吾
幹事	矢田 雅揮	委員	野田 敏弘
委員	大宮 有貴	委員	高垣 遵
委員	加古川 和也	委員	福田 有哉



## 2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者委員会	9月7日	菊水 会議室	①基本方針案について
第2回候補者委員会	10月1日	一宮市民会館 第3会議室	①基本方針案について ②事業計画案について
第3回候補者委員会	10月26日	一宮市民会館 第3会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について
第4回候補者委員会	11月6日	一宮市民会館 第3会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画1案について
第5回候補者委員会	12月7日	一宮市民会館 第3会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画1案について ⑤事業計画2案について
第1回委員会	1月7日	木曾川体育館 会議室	①事業計画1について ②事業計画2について
第2回委員会	1月26日	一宮市民会館 第3会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第3回委員会	2月22日	一宮市民会館 第3会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第4回委員会	3月24日	一宮市民会館 第3会議室	①事業計画1について ①事業計画3について
第5回委員会	4月18日	一宮市民会館 第3会議室	①事業計画1について
第6回委員会	5月16日	一宮市民会館 第3会議室	①事業計画1について
第7回委員会	6月13日	一宮スポーツ文化センター 小ホール	①事業計画1について
第8回委員会	7月21日	アイプラザ一宮 小ホール	①事業計画1について
第9回委員会	8月18日	一宮市民会館 第2会議室	①事業計画1について
第10回委員会	9月23日	㈱HarborCreate 会議室	①事業計画1について ②事業計画3決算について
第11回委員会	10月17日	一宮市民会館 第2会議室	①事業計画1について ②事業計画3決算について
第12回委員会	11月21日	㈱HarborCreate 会議室	①事業計画1について ②事業計画2決算について
第13回委員会	12月12日	一宮市民会館 第3会議室	①事業計画1について ②事業計画2決算について



### 3. 事業報告


#### ①事業計画1 会員の拡大(1月～12月)

本年、青少年共育委員会では子どもたちの「生きる力」を共育するため、ともに活動する仲間を拡大するという目的のもと1年間活動してまいりました。

毎月の委員会では拡大の時間をしっかり設け、リストアップ、アプローチについて話してまいりましたが目標3名に対し1名しか拡大できなかったことは大変残念です。拡大の難しさを痛感した1年でした。

最後まで積極的に拡大活動をしていただいた委員会メンバーの皆様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### ②事業計画2 子どもたちの思いやりの心を育む(5月～11月)

思いやりの心を育み「生きる力」を共育することを目的に「田んぼ de アート 稲植えてい～ね」と題した公開例会、公開事業を行いました。

初めに思いやりとは何か、どんな思いやりを子どもたちに育んでもらいたいのか考え、さらに親子で参加することでどんな思いやりが育めるのかを委員会で話していく内に田んぼアートという手法が一番いいのではないかとこの事になりました。5月、8月、11月の3回に分けてそれぞれ違った方向から思いやりを育めるよう組み立てていきました。

5月29日(日)に行った公開例会ではチームに分かれ、親子1組で田んぼに入り、手植えで稲を植えていきました。目標に向かう中で親は子を、子は親を気づかい助け合うことで思いやりが育めたと感じております。

8月11日(木)の公開事業①では5月に植えた稲を守るためにチームで1体のかかしを作りました。チームで話し合い協力し完成したかかしはどれも個性があり素晴らしいものになったのではないかと思います。

11月13日(日)には5月に植えた稲が収穫の時期になりみんなで稲刈りをし、そのお米でおにぎりを作り食べました。実際に食べることで食卓に上がるまでにどれだけの作業工程があり、たくさんの人たちの手間がかかっていることを感じてもらえたと思います。

参加者に大きなけがもなく終えれたことは良かったと思っています。そしてメンバーの皆様のご協力なくしては、成功しなかった事業だったと思います。本当にありがとうございました。


開催場所:

公開例会 木曽川体育館(会議室、田んぼ)

公開事業① 木曽川体育館(アリーナ、田んぼ)

公開事業② 木曽川体育館(高齢者施設、田んぼ)

#### ③事業計画3 子どもたちの主体性を育む(6月～8月)

主体的に行動できる子どもたちの「生きる力」を共育することを目的に第3回サマーアドベンチャー～真夏のクリスマスツリー作り～を開催いたしました。

主体的に行動する子どもを育成するには目的を持ち、その目的を達成するにはどうしたらいいのかを考え行動

させる必要があると考え、キャンプという手法を取りました。普段体験できない経験をする中で自ら考え行動し、目的を達成する達成感を味わっていただきたいと思い事業を組み立ててまいりました。

6月18日(土)の公開事業①ではチームに分かれ自己紹介をし、打ち解けられるようにアイスブレイクをしました。そして、チームでの目標や献立を決めました。また、保護者説明会を開き開催の趣旨や目的を伝えました。

7月24日(日)の公開事業②ではキャンプ当日作るクリスマスツリーのパーツをチームで作成しました。また、当日チームで作る夕食、朝食、昼食の作り方を話し合い決めました。

8月20日～21日の公開例会では途中スーパーに立ち寄りチームで決めた材料を予算内で購入し、キャンプ場ではクリスマスツリーのオーナメント作成やチームで目的を達成するために自由時間を設け経過してもらいました。2日目にはチームでピザ窯を作り思い思いのピザを作りました。

LOMメンバーの皆様におかれましては2日間を通してご協力いただき本当にありがとうございました。

開催場所:

公開事業① 一宮スポーツ文化センター 小ホール

公開事業② アイプラザ一宮 小ホール

公開例会 母袋温泉・アウトドアイン母袋

### 4. 最後に

まずは、1年間を振り返るにあたり私ども委員会の例会、事業にご参加いただきましたメンバーの皆様には心から御礼申し上げます。

本年、青少年共育委員会は、総勢16名のメンバーで子どもたちの思いやりの心を育み、主体的に行動できる子どもを育成し、「生きる力」を共育する目的で1年間活動してまいりました。2回の公開例会、4回の公開事業を行い、楽しいことや辛いこともたくさんありました。そんな時はいつも委員会メンバーがそばにいてくれて、私の心の支えになってくれました。そのおかげで1年間委員長職をやってこれたと感じております。振り返ってみると委員長として至らぬ点がたくさんあり委員会メンバーには迷惑ばかりかけていたと思います。その中でも浅田担当副理事長には本当に心配ばかりおかけしてしまいました。投げ出したくなったこともたくさんありますが浅田担当だったからやり遂げる事ができたのだと思っています。本当にありがとうございました。私にとって本当に成長できた1年だったと思います。

最後になりますが、土川理事長をはじめ理事会構成メンバー、LOMメンバー、委員会メンバーの皆様には最後までお付き合いいただき心より感謝申し上げます。今後はこの経験を少しでも皆様へ還元できるようにJC活動を頑張っていきたいと思っています。私にとって2度と経験のできない素晴らしい経験になりました。本当にありがとうございました。

# 拡大・アカデミー委員会

## 1. 委員会構成メンバー

担当副理事長 久保 辰也  
 委員長 小寺 浩至  
 副委員長 野村 和弘  
 副委員長 丸目 礼子  
 幹事 平田 浩一  
 委員 伊東 大徳  
 委員 高月 英昭  
 委員 野田 一郎



## 2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者委員会	9月 15日	菊 水 会 議 室	①基本方針案について
第2回候補者委員会	10月 8日	一宮市民会館 第2会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③事業計画2について ④事業計画3について
第3回候補者委員会	10月26日	一宮市民会館 第1会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画2について ⑤事業計画3について
第4回候補者委員会	11月13日	一宮市民会館 第4会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画2について ⑤事業計画3について
第5回候補者委員会	12月3日	一宮市民会館 第1会議室	①事業計画1について ②事業計画4について
第6回候補者委員会	12月29日	名古屋避雷針工業(株) 会議室	①事業計画1について ②事業計画4について
第1回委員会	1月12日	一宮市民会館 第1会議室	①事業計画1について ②事業計画4について
第2回委員会	1月26日	一宮市民会館 第4会議室	①事業計画1について ②事業計画4について ③事業計画5について
第3回委員会	2月 23日	一宮市民会館 第3会議室	①事業計画1について ②事業計画5について
第4回委員会	3月 24日	一宮市民会館 第2会議室	①事業計画1について ②事業計画5について
第5回委員会	4月 21日	一宮市民会館 第1会議室	①事業計画1について ②事業計画4決算について
第6回委員会	5月 17日	一宮スポーツ文化センター会議室	①事業計画1について
第7回委員会	6月 21日	一宮市民会館 第1会議室	①事業計画1について ②事業計画5について ③正会員予定者委員会配属について
第8回委員会	7月 20日	一宮スポーツ文化センター第7会議室	①事業計画1決算について ②事業計画5について
第9回委員会	8月 23日	一宮スポーツ文化センター第7会議室	①事業計画1について ②事業計画6について ③卒業例会後の懇親会、2次会、3次会について
第10回委員会	9月 23日	一宮スポーツ文化センター第6会議室	①事業計画1について ②事業計画6について ③卒業例会後の懇親会、2次会について
第11回委員会	10月18日	一宮青年会議所 事務局	①事業計画1について ②事業計画6について ③卒業例会後の懇親会、2次会について
第12回委員会	11月22日	一宮スポーツ文化センター第4会議室	①事業計画1について ②事業計画2決算について
第13回委員会	12月26日	一宮市民会館 第1会議室	①事業計画1について ②事業計画3決算について ③事業計画6決算について

### 3. 事業報告

#### ①事業計画 1

会員の拡大 (1月～12月)

LOMの未来を見据え地域に与えるインパクトをおおきくするよう会員の拡大を実施しました。メンバー全員での拡大を推進していく為、全委員会の事業計画1に会員の拡大を入れて頂きました。

毎月、全委員会に拡大リストの更新を依頼するとともに、毎月、各委員会に拡大強化月間をつくり全メンバーの意識の向上に努めました。年間の目標人数へは程遠くなくなりましたが、土川理事長を始め全メンバーの皆様については一年間ご協力頂き、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### ②事業計画 2

オリエンテーションの開催(1月～6月)

まずは、土川理事長を始め、メンバーの皆様、予定者への温かいご指導ご鞭撻に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第1回オリエンテーションでは主体的にこれからの青年会議所活動を行って頂くために主体的スピーチと題し、予定者の皆様に自己紹介をして頂きました。また、これからの活動にあたりマナー講座を行いました。

第2回オリエンテーションでは青年会議所の仕組みや歴史を学んでもらい、より活動を理解して頂きました。

第3回オリエンテーション理事会傍聴では、実際に理事会の雰囲気を経験して頂きました。予定者の皆様とは話す時間はあまりありませんでしたが、必死に学ぼうとしている姿がうかがうことができました。

第4回オリエンテーション模擬委員会では実際に予定者の皆様に議案を書いて頂き、模擬委員会を開催し意見や答弁をして頂きました。模擬委員会まで何回も予定者の皆様が集まって議案作成をしていました。

第5回オリエンテーションでは、集大成として歴代理事長、佐々憲一先輩をお招きし、講話を行いました。沢山の経験をされてきた佐々先輩のお話は予定者の皆様にとって貴重な経験になったかと思えます。

最後に全てのオリエンテーションを通し、予定者の皆様がこれからの一宮青年会議所を背負っていきける誇り高さ会員への一助に出来たと思えます。

#### ③事業計画 3

全員拡大ツールの作成 (1月～12月)

一宮青年会議所が地域に与えるインパクトを大きくするためには一人でも多くの仲間を増やすことが大事で、全会員が有効的に使えるツールを作成するべきだと考え、パンフレットのみではなく拡大への促進ツールとして一宮青年会議所の歴史、メンバー紹介、事業風景や事業目的などを記載した冊子を作成させて頂きました。また全メンバーと情報を共有できるように拡大リストを作成し、細かく拡大対象者の方の情報を共有できるようにして頂きました。

#### ④事業計画 4

例会の開催 (3月)

全会員での拡大を実行する為、例会を開催させて頂きました。ここ近年の拡大例会では講師をお招きし講話をいただく事が多かったかと思えますが、今年は委員会メンバーでツールの効果的な使い方、訪問時のマナーなどを映像にし、会員の皆様に観て頂きました。また、会員個々が何に魅力を感じ活動を行っているのかを気づいて頂けるようディスカッションをし、全員拡大への一助となる例会を開催させて頂きました。

#### ⑤事業計画 5

入会3年未満研修会の実施 (5月)

今回の研修会は3年未満会員を対象とし、自らを知り、相手を思いやる心を育み、より強い組織へと導けるリーダーの育成を目的とし開催させて頂きました。

この研修会では3部構成とし、第1部では日本青年会議所公式プログラムであるTAセミナーを行いました。このセミナーでは自分が今どんな感情を抱いているかや、相手を思いやる心の重要性を伝えました。

第2部では、横田公一先輩をお招きし、講話をして頂きました。この講話ではより強い組織へと導けるようになるには、様々な役職での立ち振る舞いであったりが、重要だと考え、講話を頂きました。

第3部では、1部2部を通しこれからどう活動をしていくのかを3年未満会員に発表して頂きました。

#### ⑥事業計画 6

卒業例会の開催 (12月)

本年度は7名の卒業生をお見送りするにあたり、どのような例会にして行けば喜んで頂けるのか、前年度からの良い部分、変更した方が良い点、また本年度から会場が新しくなり設営をどのようにするかなど非常に難しい例会になりました。これまで上期予定者、下期予定者がいましたが、本年は上期予定者しかいない事もあり、卒業会員の紹介を映像で行う、新しい試みをさせて頂きました。昨年もありました、卒業された先輩からのメッセージではメッセージを頂きたい方を事前にお聞きし、卒業メンバーの本当にメッセージを頂きたい方からいただく事ができ、よろこんでいただけました。

私的には、全てを通し感謝と敬意を表しお見送りできたのではないかと思います、また残されたメンバーには65年受け継がれてきたDNAを継承できたのではないかと思います。

### 4. 最後に

本年、拡大・アカデミー委員会は、8名の正会員予定者をお預かりし活動させて頂きました。まずはこの8名の正会員予定者を温かく、また時には厳しくご指導ご鞭撻して頂きましたLOMメンバーの皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。結果としては6名を正会員とすることができましたが、2名正会員として導く事ができませんでした。全ての予定者を正会員に導く事ができなかったことに関しましては委員長としてのリーダーシップが足りなかったと反省しております。

拡大に関しても、全メンバーに対しての拡大への雰囲気づくり、意識の落とし込み、多々足りない部分があったかと思えます。それにも関わらず対象者を紹介して頂いたり、入会申込みまでして頂いたメンバーには感謝申し上げます。そして本年度から1月からの入会しかできないと言う事で、より戦略的に拡大をするべきだったと反省しております。1月より拡大を展開していきましたが1月に拡大された方に断られてしまったりと、年間を通した戦略を立てるべきだったと思えます。

最後になりますが、LOMの未来を見据える拡大とアカデミー委員会の委員長に任命して頂きました久保担当副理事長、お声をかけて頂きありがとうございました。久保担当副理事長が思っていた期待に応えることができたかどうかは分かりませんが、自分自身としては委員長を受けさせて頂き、大きく成長できた一年だったと思えます。最後までご協力頂きました委員会メンバーの皆様にも感謝しかありません。

本当に一年間ありがとうございました。

## 監事所感

監事 野杵 晃充



監事 服部 良太



2016年は65周年という節目の年にあたり、周年式典・周年事業がありました。また、9年ぶりに公益社団法人日本青年会議所へ議長を輩出するという多くの担いのある年でした。その中で、様々な問題が発生しましたが、すべての問題を解決して65年の歩みを止めることなく、無事に1年を終えることが出来たのは、理事長はじめとする執行部のご尽力の賜物だと思います。ありがとうございました。

### 《事務局》

年の途中から事務局長不在となり、当初は戸惑いもあったかと思えます。しかし、専務、渉外委員長、事務局次長で役割分担をして、理事会の開催や理事長のアテンドなど事務局が行わなければいけないすべての業務を滞りなく行っていただいたと思います。例年以上に理事長がオブザーブしなければならなかったが多かったと思いますが、それにも関わらず、決して理事長を一人にせず、事務局の担いを全うしていただきました。

### 《渉外委員会》

事務局長不在となり、ある意味では事務局の役割も同時に担当していただいていたと思えます。おもてなしや出向者支援など、裏方仕事に徹し、日の目を見ない渉外委員会の役割は時として報われないものに映ってしまうかもしれませんが、渉外委員会メンバーが一生懸命やっている姿はしっかりとメンバーに伝わっていました。何よりも楽しそうにやっている姿は今後の渉外委員会のイメージを変えてくれました。

### 《総務委員会》

2016年は周年式典があり、例年で言う賀詞交換例会が2回あるような年でした。ご来賓の皆様や来訪JCがお集まりいただくということで、気の抜けない1年だったと思います。

会場等の諸問題はあつたにせよ、素晴らしい設営をしていただきました。この先の70周年にしっかりと引き継ぎをお願い致します。また、そのような中でも平日頃の地道な業務が総務にはあります。適宜しっかりと対応していただき、委員長の真面目な性格が業務に表れておりました。

### 《広報・交流委員会》

すべての懇親会を設営していただきました。その設営はただ単に会場を準備するだけでは留まらず、必ずメンバーを楽しませる何かを用意していただきました。せっかく懇親会に参加するならわくわくするような参加したくなるような懇親会にしたいという委員長の思いのつまった懇親会だったと思います。何よりも1年間やり通したことに敬意を表したいと思います。同じように広報にも力を注いでほしかったですが、街頭アンケートを行い、認知度調査を行うなど新しい試みも行っていただきました。

### 《国の誇り創造委員会》

国をテーマにした委員会は近年、一宮青年会議所にはなかった委員会です。地域のために活動している私たちにとっては難しいテーマだったかと思えます。しかし、2016年は選挙制度が大きく変わり、それを生かした例会や65周年記念事業を行っていただきました。これまでにない若年層の一般参加者を迎えた例会は一宮青年会議所に新しい風を吹き込んでくれました。記念事業

に関しても、参加者に飽きさせない構成で例会を開催していただきました。

#### 《地域の誇り創造委員会》

委員長の交代などスタートから多くの問題が発生した中で一宮青年会議所の顔ともいえる事業を行っていただきました。その苦労は当事者にはわかりえないものがあると思います。様々な問題を乗り越えて行っていただいた例会はこれから先の道筋を示していただいたように感じます。行政や他団体との関わり合いをより強くしていただいた1年でした。

今後も継続していく事業ですので、今年1年の苦労が必ず報われる日が来ることを願っております。

#### 《青少年共育委員会》

今年で3回目となるキャンプを行っていただきましたが、継続事業として行われているものはその年独自の色を出さなければなりません。その点で思慮したのではないかと推測されます。タイムスケジュールの甘さはありませんでしたが、2016年ならではの例会だったと思います。また、田んぼアートは裏で様々な専門職のメンバーが活躍していただいたと聞きました。そのおかげで子どもたちも記憶に残る事業になったのではないかと思います。

#### 《拡大・アカデミー委員会》

入会が年1回に変わったため、予定者オリエンテーションも上期のみとなりました。また、予定者が正会員になった際に配属を対外事業を行う委員会への配属となりました。この制度になり、初めての年でしたので戸惑いもあったかと思いません。拡大に関しても年初に拡大した方は入会が1年後になるなど、拡大、アカデミーともに多くの問題が出てきたと思います。対応できた部分とできなかった部分があると思いますので、しっかりと検証して次年度以降に繋げていただきたいと思います。

#### 《結びに》

2016年全体として感じたのは、まとまりのなさでした。これは今年に限ってではないですが、個々の委員会単位、それも対内系の少数しかいない委員会は出席率も高く、まとまりを感じましたが、多くのメンバーを抱える対外事業を行う委員会にはあまり感じませんでした。全体の事業になった時にはさらに、当事者意識が薄れているように感じます。少ない人数のほうがまとまりやすいの当たり前です。組織の形成上致し方ないのかもしれませんが、

人員配分など考えないといけないのかもしれない。個々の委員会がまとまり、お互い様という意識を委員会としてもつことが出来れば、必然的に全体事業にもまとまりが生まれてくると思います。次年度以降、そういった一体感のある一宮青年会議所なることを願います。

## じゃがいもクラブ

部会長 青山 直生



2016 年度じゃがいもクラブ部会長を務めさせていただいた青山直生です。まずは、土川理事長をはじめとする公益社団法人一宮青年会議所メンバーの皆様にはこのような貴重な機会をいただきましたこと深く感謝申し上げます。そして、一緒に設営に尽力いただいた担当副理事長と部会メンバーの皆様には心から感謝しております。ありがとうございました。

私はもともとゴルフ好きで、入会してからもすべてのじゃがいもゴルフコンペに参加してきました。このじゃがいもクラブ部会長という役もゴルフの経験値をさらに高めようという想いで受けることを決めました。しかし、現実はそんなに甘くはなく、2016 年度は 65 周年記念コンペと 6JC 合同ゴルフコンペの設営を担う年であり、じゃがいもクラブにとって例年とは比較にならないくらい担いの多い年であると後から思い知りました。

最初に設営させていただいた 65 周年記念コンペでは早い段階から準備をして多くの先輩にお声掛けして多くの先輩に出席していただいたにもかかわらず、多くの不備があり、様々な方々にご心配とご迷惑をお掛けしました。反省ばかりの設営となってしまいました。2 回目、3 回目の設営は最初のゴルフコンペの反省をなんとか払拭しようと心掛けました。100 名近い 6JC ゴルフコンペと秋のゴルフコンペは皆様のご協力もあり大きなトラブルもなくスムーズに進行することができたと考えています。しかしながら、反省点は次年度以降に引き継いでいきたいと考えています。

本年度も数多くの先輩方に参加いただき、様々な諸先輩方との交流ができたと思います。3 回の設営においてとても有意義な時間を過ごすことができたと私自身は感じております。このような経験を他の多くの現役メンバーにも出席いた

だき経験していただきたいと思います。

最後になりますが、2017 年度はじゃがいもクラブ監事として参加させていただきます。本年度以上に先輩方と現役メンバーが楽しい時間の過ごすことが出来るようご協力させていただき、じゃがいもクラブがさらに盛り上がる事が出来るよう尽力させていただきます。

一年間大変良い経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。



## 建設部会

部会長 岩田 祐治



2016年度建設部会長を務めさせていただきました岩田祐治です。一年間無事に務めることができたのも土功介理事長をはじめ、一宮青年会議所メンバー、そして先輩諸兄の皆さまのおかげであり、心より御礼申し上げます。

建設部会は、諸先輩方と現役メンバーとの数少ない交流の場としてビジネスの話ができる場、親睦を深める場としてとても大切な役割を持っている機会であると感じました。総会後の懇親会では多くの出席者の業種や仕事の内容を知っていただくという趣旨で、名刺交換会を行いビジネス発展の機会を提供させていただきました。今後のビジネスの発展につながれば幸いと存じます。私自身、部会長として一年間活動させていただき、設営の難しさを学ぶことができました。不手際や準備不足が多々ありましたが、副部会長などのスタッフをはじめとした皆様にご協力をいただき無事に乗り切ることができたと感じております。

先輩方からの要望として、もっと気軽に先輩方と現役メンバーが交流をしたいという意見がございました。本年度は先輩のご厚意で京都において交流の場を設けるなどいたしました。もっと気軽に集まって交流を行える場を増やしてほしいという要望に応えることができなかったことが大変申し訳なく思っております。2017年度は建設部会監事という立場で参加させていただきますので、しっかりと2017年度の部会長に反省点を引き継いで素晴らしい部会となるように協力していきたいと思っております。また、沢山の諸先輩方と現役メンバーに参加していただける部会として、ますますの交流とビジネスの発展の場となることを期待しております。

最後になりますが、この建設部会が先輩方と現役メンバーとのビジネスの交流の場として、本

年度に学んだ経験を活かして、よりよい営ができるように協力をできたらと思っておりますので、引き続き皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

一年間という短い期間でしたが、素晴らしい経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 世界に貢献する日本創造会議に出向して

議長 野杵 晃充



2015 年 9 月 1 日、東京都千代田区平河町にある青年会議所会館(JC 会館)の会頭室において、山本樹育会頭より「国際グループ 世界に貢献する日本創造会議 議長」の委嘱状を授与されました。日本青年会議所 2016 年度は、5 グループ 32 の会議体・委員会から構成され、当会議体の担い手としては、「企業活動を通じた国際貢献の必要性を伝え、国連持続可能な開発目標(UN SDGs)の達成に向けた運動を推進すること。」同時に、国際グループの筆頭議長として、国際グループの他の 5 委員会のフォロー及び取りまとめをするよう仰せつかりました。

その日からチーム作りが始まり、全国の知り合いに声を掛け、5 人の副議長、4 人の幹事を含め、総勢 92 名の大所帯で一年間の活動を推進してまいりました。世界に貢献する日本創造会議が、本年企画・実施した主な事業は下記のとおりです。

1 月の京都会議では、アフリカの花屋代表の萩生田愛さんをお招きし、「一輪の花が届ける世界の幸せフォーラム」を開催しました。ケニアから色鮮やかで生命力あふれるバラを輸入し日本国内で販売することで、現地の人々の雇用を増やし、企業としての利益を上げるという、ビジネスを通じた持続性ある国際貢献のあり方を発信しました。

また昨年 11 月の JCI 世界会議金沢大会において採択された金沢宣言に基づき、国連持続可能な開発目標(UN SDGs)の目標 6「安全な水と衛生」の推進に向けた、「JCI JAPAN SMILE by WATER」キャンペーンを立ち上げました。本キャ

ンペーンは 2016 年から 2020 年まで続く 5 年プロジェクトであり、本年 2016 年度は、アジア最貧国の一つであるバングラデシュのバゲルハット県モレルガンジ郡において、雨水貯留タンクを 200 基設置し、約 500 名の人びとが年間を通じて安全な飲み水にアクセスできるようになりました。わたしも 6 月に現地視察に赴き、私たち日本人が当たり前と思っている水道や電気などの公共インフラが整っていない状況を目の当たりにし、あらためて国際貢献の必要性を実感しました。本年 11 月にカナダ・ケベックで開催された世界会議で最終報告し、世界中の JCI メンバーからお褒めの言葉をいただきました。

そして 3 月 31 日から 4 月 2 日にかけて、石川県金沢市において、初めての開催となる JCI 金沢会議を開催しました。金沢宣言が採択されたことを記念し、こちらも 2016 年より 2020 年まで継続開催されます。アジア 21 ヶ国より、NOM 会頭あるいは代表者をお招きし、アジア地域における UN SDGs の推進について情報交換し、また交流の機会を通してアジア地域の平和と発展について誓い合いました。

7 月のサマコンでは、DMM.com 創業者であり、本年 DMM.Africa を立ち上げた亀山敬司氏と、若干 21 歳にしてアフリカで起業した牧浦土雅氏をお招きして、「飛び出せ、NIPPON！」～ビジネスが世界の未来を切り拓く～を開催しました。2 月から議案上程をはじめ、6 月の理事会で審議されるまで何度も講師を変更し、オープニング映像に関しては 40 回以上作り直した、本当に難産の事業でありました。しかし当日は定員大きく上回る方にご来場いただき、海外で事業展開する

この可能性や、現地の社会的課題の解決が国際貢献と自社利益の両立(アウフヘーベン)につながることを発信することができました。

サマコンの翌週には、タイ・バンコクにおいて社会実験を開催しました。日本で使わなくなった不用品をコンテナ船で現地に運び、不用品をチャリティバザーすることで得られた収益金を、寺院が経営する学校に寄付するというものです。日本では廃棄されてしまう品々がリサイクルされるとともに、国際貢献が日本の評価や信頼につながる可能性があることを確信しました。

タイの社会実験の翌週、JCI 少年少女国連大使事業を開催しました。全国から選抜された小学5年生から中学3年生までの大使30名とともに、アメリカ・ニューヨークへと渡航し、現地の国連本部やユニセフなどで、国際社会が抱える問題やその解決方法について学びました。最終日に国連本部で行われた大使達によるプレゼンテーションでは、聴衆からスタンディングオベーションをいただくことができました。6日間という短い期間ではありましたが、現地での研修や国際交流を通して、世界の未来を切り拓く若い人材の育成に寄与できたと思います。

ほぼ毎月の議案上程と現地調査の連続。日本青年会議所の議長・委員長が大変だということは人から聞かされていましたが、まさか月の半分以上を東京や地方で外泊し、議案の準備に二日も三日も徹夜するとは想像すらしていませんでした。30人近い役員が居並ぶ中、上程台に立って議案を説明する月に1度の常任理事会はまさに真剣勝負そのもので、議案に不備があったり、きちんと説明ができないと役員から怒号が飛びました。議案の締め切りに追われる日々で、白髪もかなり増えました。

しかし、そんなハードな時も、一緒に支えてくれる副議長やスタッフ、メンバーが傍にいてくれたおかげで、決して腐ることなく、楽しみながらも

充実した1年4ヶ月を過ごさせて頂きました。特に、ずーっと傍にいて会議体運営を切り盛りしてくれた総括幹事の平松道介君。幹事補佐として様々な段取りやサポートをしてくれた加藤貴恭君と伊藤匠君。また委員として一緒に出向してくれた森功一朗君、青木俊宏君、西岡信幸君、浅野大介君。みんなには感謝の言葉しかありません。一年間を通して大変助けていただきました。本当にありがとうございました！！また来年は、LOMの要職を担われる方が多く、今年の学びと人脈を活かして、さらなるご活躍を心から祈念しております。

また出向とは、出向者だけで行えるものではなく、LOMの支えがあつてはじめて成立するものです。伝統と誇りあるナンバー8の称号に泥を塗らない、そして一宮の看板を光り輝かせることを心掛けて一年間の出向活動に専念することができたのも、出向を認めて頂き、1年間にわたって様々なご支援をいただきました土川功介理事長をはじめとする理事会構成メンバーの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。ただ唯一心残りがあるとすれば、監事という役職をいただいたにも関わらず、出向活動が多忙すぎて会議や事業にほとんど参加できず、LOMのお役に立てなかったことです。特に、一緒に監事職にあった服部監事にはご負担をおかけしました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

結びに、LOMメンバーの皆様へ。京都会議やサマコンの懇親会にて激励いただいたこと、京都会議・金沢会議・サマコンの各フォーラムに参加して頂いたり、SMILE by WATERの募金活動に協力して頂いたり、皆様の友情に心から感謝申し上げます。来年以降、しっかりとLOMに還元できるよう努めます。また、日本JC・東海地区・愛知ブロック等への出向は、長い人生の中で必ず有益なものであると確信しております。全国から集まる豪傑との出逢いや、苦しい時間を乗り越えることで培われる友情は、人生に新たな彩りを与えてくれます。是非、チャンスがあれば出向してみ

てください。そして出向された方が、翌年 LOM の役職につくことが、好循環を生み、LOM が活性化していくきっかけとなります。一宮青年会議所がナンバー8 の称号に相応しい、素晴らしい LOM であり続けることを願っています。1 年間、本当にありがとうございました。本年度に学んだ経験を活かして、よりよい設営ができるように協力をできたらと思っておりますので、引き続き皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

一年間という短い期間でしたが、素晴らしい経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 世界に貢献する日本創造会議に出向して

総括幹事 平松 道介



私は公益社団法人日本青年会議所国際グループ世界に貢献する日本創造会議の総括幹事として、野杵議長のもと出向させていただきました。LOM の皆様にはご迷惑ばかりお掛けしましたが、ご協力いただき、また出向にご理解をいただき、出向をさせていただきましたことに感謝致します。

総括幹事としての役割は、名目上であれば、野杵議長の代理であり、野杵議長がお見えではなれない時に議長と同様な対応をしていきます。しかし、私には到底代理は出来ませんので、自分の出来ることである議長と各メンバーとの潤滑な橋渡し、またメンバー同士の潤滑油となるようしっかりと心掛けてきました。日本青年会議所に出向されるメンバーは皆さんが思われているように豪傑ばかりですし、また個性的な方ばかりで、メンバーをまとめるには一苦労しました。相手を知り、己を知れば、百選危うからずの意識を持ち、出来る限りメンバー皆さんとお話をして、人となりを知ることを中心に行動してきました。

また日本青年会議所の国際グループの醍醐味である海外への事業に参加出来たことはとても自分自身の成長のためによかったと思います。すべてがすべて大事な事業ですが、特に少年少女国連大使が印象に残っております。全国の小学5年生から中学3年生を国連大使として30名選考し、国連やユニセフで国際問題を学び、学んだことを国連本部で発表致しました。その後日本に戻ってきてから国連大使の方々が、各地の県知事及び市長、小学校や中学校で発表し、啓発活動をしていただいております。その大使たちとの交流がとても自分自身の成長へとつながりました。

また、日本青年会議所に出向したことで、全国

にかけがえのない仲間ができたことがとても自分にとってよかったことです。この年齢で全国各地に友達が出来るとは青年会議所の良さであり、日本出向の醍醐味だと思います。

本当に今年日本に出向出来たことは私の人生の中で大きな成長へとつながりました。出向を許していただいた一宮青年会議所のメンバーの方々には本当に感謝致します。

次年度この日本出向で学んだことをLOMに還元できるようしっかりと頑張ってお参ります。

## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 世界に貢献する日本創造会議に出向して

#### 国際グループ 委員 森 功一郎



2016 年度は公益社団法人日本青年会議所国際グループ 世界に貢献する日本創造会議に委員として出向させていただきました。まずは土川理事長始めとする LOM メンバーのみなさまに感謝申し上げます。

日本青年会議所には 2014 年度に続き 2 回目の出向となりました。今回は拡大委員会の会計幹事ということでスタッフの動きもあり、大変多忙なスケジュールでしたが、今回は委員ということで基本的には月一回の委員会と各種大会の事業設営だけで余裕を持った活動でした。

私は第 2 小会議に所属し、大きな担いとしては京都会議とサマーコンファレンスでのフォーラム設営がありました。京都会議では「一輪の花が届ける世界の幸せフォーラム」と題し、株式会社 Asante 代表取締役 萩生田 愛(はぎうだ めぐみ) 氏 をお迎えし、アフリカの花屋についてご講演いただきました。萩生田さんは今注目されているエシカルビジネスを実際に展開されている方です。エシカルビジネスというのは新興国などで自国のお宝(資産となりうるもの)に気づかず、(貧しく)暮らしている人達に仕事を与え、教え、利益をもたらす、生活水準を上げることのできる素晴らしいビジネスのことです。サマーコンファレンスでは飛び出せ、NIPPON! ~ビジネスが世界の未来を切り拓く~ と題しまして講師に レンタルビデオ店から巨大IT企業を創り上げ、昨年アフリカ事業への進出を決めた株式会社 DMM.com 創業者 同社会長 亀山 敬司氏、若干 19 歳にしてアフリカで起業し、米国発のビデオコンテンツ TED 「世界の 12 人の若者」に選出された Needs One Co.,Ltd. 共同創業者の 牧浦 土雅(まきうら どが) 氏、進行役として株式会社 グラコネ CEO 藤本 真衣氏 をお迎えし、対談形式にて世界を意識し

た企業活動を通して国際貢献へつながる取り組みについて講演していただきました。

本年度は野杵議長を一宮から輩出し少しでも議長の手助けになればと思いい出向を決めました。諸事情でなかなか海外ミッションには参加出来ませんでした。全国各地で委員会に参加する中で様々な LOM のメンバーと交流を深め色々な学びが出来たことは今後の人生においても非常に価値のある経験であったと思います。私は本年度で卒業になり、もう出向が出来ないということに関して非常に淋しい気持ちがしております。後輩達にはどんどん出向していただき自己の成長につなげ、ひいては LOM、地域の発展に貢献して欲しいと願うばかりです。長い間お世話になりました。ありがとうございます。

## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 世界に貢献する日本創造会議に出向して

#### 国際グループ 委員 青木 俊宏



本年度は、公益社団法人日本青年会議所 世界に貢献する日本創造会議 国際グループに出向させていただきました。初めに支援いただいた土川理事長を始めとする LOM メンバーのみなさまに感謝申し上げます。

私が所属した小会議体は西宮青年会議所より出向された、小林副議長率いる第一小会議体というところでした。こちらでは持続可能なボランティア活動ということで、ただ単純に寄付をして終わってしまうボランティアではなく、現地の人が現地で働き継続的に収益を上げる『仕組みを作る』という活動をさせていただきました。

具体的には、タイで現地の法人と組み日本から不用品を集めて現地の小学校で売るというバザーのようなことを行い、その収益を現地の小学校に寄付してきました。

私自身、海外でビジネスをしたことはなく全てが初めての経験でしたので、どうやって現地法人を選定するのか、実際にどこでどうやって打ち合わせを行うのか等、非常に勉強になりました。また下見や現地企業の方たちと一緒に働くこと、食事をするなどで、その国の人たちの実際の生活を垣間見ることができました。普通の旅行では絶対に体験することが出来ない貴重な経験が出来たと思っております。本当に楽しかったです。

今回、私は初めての日本出向だったのですが何よりも印象的だったのが、全国から集まる仲間との出会いでした。何せインパクトのある人が非常に多い。各自の JC の活動力に感心させられたり、仕事のエネルギーや結果に感心させられたり、非常に豪快な人間性だったりと本当に多くの刺激をいただきました。

このように多くの経験をさせていただいた、出向という機会を与えて頂きましたことに心から感

謝しております。本当にありがとうございました。



## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 世界に貢献する日本創造会議に出向して

#### 国際グループ 委員 西岡 信幸



先日、最後の全体会議が終わり、1 年間の出向先での活動が終わりました。初めての出向(しかも日本青年会議所出向)ということで、当初は不慣れなことばかりで戸惑いましたが、終わってみれば本当に貴重な経験と、新しい世界を見させていただきました。私は第 3 小会議というグループに所属させていただき、活動としては 3 月の金沢会議の設営、UN SDGs(持続可能なグローバル目標 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続的な管理を確保する活動)の認知向上、SMILE by WATER キャンペーン(バングラデシュに雨水タンク設置、水質浄化凝集沈殿材の配布支援)の推進がございました。金沢会議では慣れない大規模での会場設営や、SMILE by WATER キャンペーン活動では、全国での運動の普及び募金活動を行い、実際にバングラデシュへ行き雨水タンクの設置活動を行いました。私自身はバングラデシュでの活動には参加できませんでしたが、他県の青年会議所まで出向き活動をさせていただきました。

第 3 小会議の活動以外にもニューヨークでの少年少女国連大使の活動にも参加させていただきました。

私自身は大したサポートはできませんでしたが、実際に研修を終えて国連でスピーチをする大使を見て感動とともに私自身も気づかされること、考えさせられることがたくさんありました、このような未来ある若い世代をしっかりと我々大人世代が支えていかねばならないと改めて思いました。

他の青年会議所メンバーの方々と共同で活動することが初めてで、地域によって考え方が違い、様々な年代の方々と接することで刺激と学びとご縁を与えていただきました。出向自体は私自身も初めは否定的でしたが、通常では経験できない

規模の大きい活動であったり、自分の人生の中での貴重なご縁であったり、多くの学びがあると思います。最後に、このような貴重な機会を与えていただきました土川理事長をはじめとします一宮青年会議所の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 東海地区協議会に出向して

副会長 野田 一郎



本年度、東海地区協議会 会務担当の副会長として出向させていただきました。土川理事長はじめ正副、メンバーの皆様には一年間通して出向者支援や事業への登録、当日の参加に対して多大なるご支援をいただいたことに心より感謝申し上げます。東海地区協議会 役員としての出向は私自身も初めての経験でしたが、たくさんの方々にお支えいただいたおかげで無事に一年を終えることができました。私も入会してから 10 年間、愛知ブロック協議会への出向はしましたが、一宮青年会議所での役職経験が多く LOM を離れて活動するということがあまりありませんでした。一宮青年会議所の活動の中では感じるができない考え方や価値観を持ったメンバーとの出会いや他 LOM との活動ややり方の違い、多くの予算を使ったスケールメリットのある事業を展開できることなど一宮青年会議所の中だけでは味わえない感覚を味わうことができました。確かに LOM と出向活動の二束のわらじを履いた状態で時間もお金もかかるかもしれませんが、必ず有意義な経験が過ごせると思います。

東海地区協議会としては前田会長のもと、次世代に誇れる東海の実現をスローガンと静岡ブロック協議会 公益社団法人浜北青年会議所から出向いただいた松田友一委員長とともに事業構築してきました。候補者段階は副会長方針や委員会事業計画の作成に時間をかけ、年明け早々から東海フォーラムのメインフォーラムをどのように進めていくかを考えていきました。全体委員会も東海地区内各所をまわり、様々な地域で開催させていただきました。メインフォーラムの講師選定の際には私の摺合せ不足もあり会長の意向をうまく汲み取ることができず、臨時役員会議を開催する運びとなり地区役員の皆様にご迷惑

をかけてしまいましたがその分、最終的には素晴らしい講師にお願いすることができました。会長やブロック会長との擦り合わせの大切さというのを改めて感じましたし、これは出向先だけでなく、LOM の事業構築にも必要なことだと思います。

7 月 2 日に開催された東海フォーラム 2016 には一宮青年会議所から多くのメンバーに登録と当日の参加をしていただいたことを御礼申し上げます。今回の東海フォーラム前の地区会員会議所会議において野杵晃充君が 2017 年度東海地区協議会会長として承認を受け、昼からの式典において東海地区内のメンバーにお披露目となる登壇がありました。その際にも多くのメンバーで登壇することができました。やはりどれだけ出向者を一宮青年会議所として支援しているのか組織力を見せる場でもあったかと思えます。

委員会のもう一つの担いでもある 7 月 30 日には JC カップ U-11 少年少女サッカー大会地区予選大会を開催しました。事前に各ブロック協議会より勝ち上がり選抜された 4 チームにおいて行いました。勝敗よりもグッドルーザーの精神を大切にして試合前には、参加した子供達に対してオリエンテーションを行い、自己紹介やアイスブレイク、相手のことを伝えられるゲームをして緊張感をほぐしました。その後、元プロサッカー選手を交えてのサッカー教室を全員で行うことでサッカーの楽しさを改めて感じていただく機会となりました。地区予選大会が始まると子供達は真剣にサッカーの試合を取組み、見守る親達も熱い眼差しで応援していました。サッカーの試合の中で相手のことを思いやるプレーが出た場合はグリーンカードというものをプレゼントし、子ども達に拍手が送られました。サッカーというスポーツを通して思いやりや悔しい気持ちを感じていただける事

業となりました。

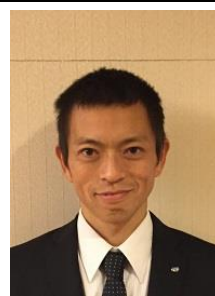
また、6月には第43回 JC 青年の船「とうかい号」に乗船させていただきました。その際にも土川理事長はじめ多くのメンバーに寄港地である台湾 高雄市までお越しいただき、元気をいただいたことに感謝しています。今まで名古屋港で出航を見送ることしていませんでしたが、乗ってはじめてその良さが分かる事業でもあります。最初、不安で仕方ない一般乗船者が研修やチームアワーなど過密スケジュールの中で8日間を共に過ごすことで協調性が生まれ、心を開いていくのが分かりました。きっと研修船であるとうかい号で学んだ事は下船した後、大きな変化をもたらすものだと思います。

2016年度東海地区協議会に出向させていただき、今までとは異なり、参加者側から運営側になり違った目線で東海フォーラムや JC 青年の船「とうかい号」を見ることができました。この経験を2017年度の LOM の活動に活かしていき、後輩のメンバーに伝えていくことが私の使命だと思います。皆様、2016年度出向させていただき誠にありがとうございました。

## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 東海地区協議会に出向して

事務局 委員 大島 航



私は本年度、公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会事務局へ出向させていただきました。土川理事長をはじめとするメンバーの皆様、出向するチャンスを与えていただき本当にありがとうございました。そしてとりわけ、眞野担当副理事長、光楽委員長を始めとする渉外委員会メンバーの皆様、快く出向先に送り出していただきありがとうございました。出向先にLOM メンバーの皆様が何度も応援にきてくれたこと、とても心強くなり湧いてきました。

地区協議会の事務局は一宮でいう所の事務局と総務委員会と渉外委員会の機能を併せ持ったような組織です。そんな組織の中で様々な貴重な経験をさせていただきました。その活動のほとんどがいわゆる黒子としてでしたが、そんな中にもやり遂げる達成感を味わうことができましたし、自分たちの地道な積み重ねが大きな成果につながっていくのだということを目の当たりにすることができました。

4 月に私は東海地区協議会から派遣されて熊本大地震の被災地域に行き、現地のボランティアのサポートをしてきました。そこには自身が住まう地域のために必死に動き続ける被災地域の青年会議所メンバーがたくさんいました。自分の家族は安全な場所へ避難させ、自分の会社や自宅の片づけは後回しにし、とにかく地域のためにと奔走する姿を見て、その意思の強さを感じ、私もそういう強い意思を持って活動しつづけなければならないと感じました。また、その意思を一宮青年会議所メンバーに伝播させていくことをここにお誓い申し上げます。

最後になりますが、2017 年度は一宮青年会議所が東海地区協議会の事務局を担うこととなります。私の 2016 年度で得た知識、経験、学びがそ

の礎となることができれば幸いです。そして一宮青年会議所の発展のために今後も皆様とともに活動して参ります。多大なるご支援をいただき 1 年間本当にありがとうございました。

2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

東海地区 愛知ブロック協議会に出向して

日本人の心醸成委員会 副委員長 秋田 雅之



まずは本年度、公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会日本人の心醸成委員会に出向させていただきました。土川理事長をはじめいたします公益社団法人一宮青年会議所全会員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

私は、入会してから一度も委員会運営というものを知らずに出向させていただきました。愛知ブロック協議会の日本人の心醸成委員会ではスタッフメンバーに支えられ副委員長の役をさせていただきました。

それほど JC 活動というものを知らず委員会スタッフになりましたので、一つ一つの活動・事業において、事業構築の大変さ・難しさを経験し、また公開事業・公開委員会などの集客に苦勞しました。ですが、事業達成で得られる委員会メンバーとの一体感や充実感も経験させていただきました。とても実りの多い経験が出来た年になりました。

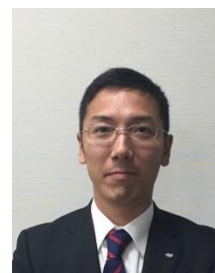
この経験を活かし、来年再来年といろいろな事があると思いますが、何事にも自らチャレンジし、相手の事を想いながら活動をしていきたいと思っています。また出向の機会がありましたら、ぜひ出向したいと思います。

1年間本当にありがとうございました。

## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 東海地区 愛知ブロック協議会に出向して

#### 日本人の心醸成委員会 委員 青山直生



本年度、愛知ブロック協議会 日本人の心醸成委員会 委員として出向させていただきました青山直生です。まずは土川理事長をはじめとする公益社団法人一宮青年会議所のメンバーの皆様にはこのような貴重な機会をいただき深く感謝申し上げます。

日本人の心醸成委員会は大きく分けて「主権者意識の醸成」「防災」「未来へつなぐ歌プロジェクト」の 3 つの事業があり、一宮からは副委員長 秋田雅之君 委員 神林亮君と共に出向させていただきました。2015 年度ブロックアカデミー委員会ではあまり出席できず皆様にご迷惑をお掛けしてしまった苦い過去もあり、秋田副委員長に誘われたときは正直心配でした。しかし、スタートしてみると委員会内は非常にまとまりがあり、楽しい雰囲気の中で遂行しているのを感じ自然と出席していたのを記憶しております。そして、秋田副委員長や神林委員が森永委員長の地元豊橋まで何度も出向いて会議を重ねているのを間近で見ていると同じ一宮としての使命感が湧いたのかもしれない。

秋田副委員長が率いる第 3 小委員会は「未来へつなぐ歌プロジェクト」の事業を行いました。事業自体は非常に多くの反省点が残る事業となってしまう悔いの残る結果となってしまいました。私自身ももっと協力できる部分があったのではないかと反省しております。秋田副委員長、神林委員、私においては、この失敗を決して無駄にすることなく、次年度以降の自分の役割に生かしていこうと感じております。

今回のブロック出向を通じて、改めて LOM を超えたつながりと雰囲気に気づかされました。LOM にはないとても新鮮な雰囲気の中でまったく新しいメンバーと苦楽を共にするという魅力に

気づき、学んだような気がします。この経験を LOM で生かしていきたいと思うとともに、この魅力を他の LOM メンバーに伝えていきます。

繰り返しとなりますが、このような良い経験をさせていただきました心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 東海地区 愛知ブロック協議会に出向して

「自立」出来る企業マインド育成委員会 委員 石川 昌臣



まずは、LOMとして出向する必要はないのにもかかわらず、私の個人的な理由で出向をさせていただき、それにかかわる数々のご理解とご協力、出向者支援をいただきました土川理事長をはじめとする一宮青年会議所メンバーの皆様には厚く御礼を申し上げます、ありがとうございました。

出向に至った経緯としては、出向に導いてくれた他LOMの同士からの声と、青年会議所活動が最終年度ということもあり最後に悔いのないように活動したい、また一宮青年会議所活動の中でも経営にかかわる委員会に在籍したこともなく、今後JCを卒業してから仕事に打ち込むための、少しでも何かを持ち帰ればと思い出向させていただきました。

今年のテーマとしてはイノベーション固定概念にとらわれない新しい発想の大切さを学ぶという目的がありました。多様化した時代の中でいろいろな事柄がどんどん変化をしていく、そんな中いつまでも今の仕事内容が未来永劫続く保証はどこにもない、何も全く違うことを始めることを推奨するわけではなく、自社の強みや顧客のニーズを改めて見つめ直すことで新しい発想が生まれることなど今後仕事をしていくうえで非常に意義のある時間を過ごさせていただきました。

また、いろいろなLOMから出向しているメンバーと出会い、時には真剣に議論をしてまた時には楽しく懇親を深めることができました。このようなことはやはり出向をしないと得られないことだと思います。

たった 1 年の出向でしたが、出向先では委員としての出向にもかかわらず青年会議所が最終年度ということもあり随所でお気遣いをいただきましたことは本当にうれしく、これが逆の立場だった

ら自分はどうふるまえたのかなども考えさせられました。私自身は今年で青年会議所を卒業しますが今後一宮青年会議所から出向をして活躍する方も見えると思います。一宮では仲間とのつながりがしっかりあると思いますが、出向先ではつながりをゼロから作りあげる必要があります。ぜひ一宮らしくまた出向先のメンバーにも気遣いのできる有意義な活動をご祈念いたします。1 年間お世話になりました、ありがとうございます。



## 2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

### 東海地区 愛知ブロック協議会に出向して

「自立」心溢れる愛知の未来創造委員会 委員 今西 達也



この度、出向をさせて頂きまして、まずは土川理事長をはじめとします一宮青年会議所メンバーの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

この度、まずは出向するきっかけとなりましたのが、私自身が仕事の都合で静岡県に転勤がきまっており、今後の青年会議所活動に関してどうしようか迷っていた所、2014 年にブロックアカデミーで同塾のメンバーより、副委員長をうけたのでできれば小幹事として一緒に出向してほしいと誘われました。委員長も豊川JCということもあり、静岡よりで比較的活動しやすいと感じ、LOMの活動は厳しいけど、ブロックであればまだ活動できるのかと思い出向を決意しました。

今回の出向は委員ですが、第1小委員会の小幹事として、小委員会の取り纏めや、委員会会場設営等裏方業務に携わり、副委員長が動けない時に財政審査特別会議に出席するといった等、貴重な経験をさせて頂きました。特に私が配属となった第1小委員会は7月に公開事業で、政策アイデア立案セミナー兼説明会を開催しましたが、今思えばなかなか試練ばかりだった気がします。公開事業の内容が決まるまで何度もゼロベースで差し替えとなり、ようやく審議可決した事業でしたが、事業前日に予定していた講師が急遽倒れられ、講師変更及び資料差し替えに夜明けまで追われ、まともにリハーサルできない状態で公開事業を迎える事となり、当日は司会を務めさせて頂きましたが、正直ひどい内容の司会となってしまいました。そんな中、一宮青年会議所メンバーが見に来ていただけたのは非常に嬉しかったです。またその時にあらためて、LOMに支えられているからこそやって自分が出向出来るのだと感じました。

この度は出向をさせて頂きましてありがとうございました。2017年度は愛知ブロック協議会へ副委員長として出向させていただきますが、一宮JCの名を汚すことの無いよう一生懸命全うしLOMに還元していきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いします。

2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

東海地区 愛知ブロック協議会に出向して

ブロックアカデミー委員会 委員 坂井 大輝



まず初めに愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会に出向させて頂き誠にありがとうございました。このような機会を与えて頂きました土川理事長をはじめ LOM の皆様には大変感謝しております。

昨年の出向者報告を聞いて LOM では出来ない事業や経験できない事業を行えると聞き出向するのを考えました。また先輩方に一宮青年会議所は一年目しかこの愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会に出向できないから後悔すると聞いたので出向を決意させて頂きました。

ブロックアカデミー委員会では、泉塾に配属されチーム大村というグループになりました。

泉塾長は、忙しいなか私の会社に挨拶をしに来て下さいました。この時私はすごい熱意のある塾長で積極的に参加をしようと思いました。

チーム目標としてチーム全員が想いを一つにして、発想力、情報力を駆使して共通の目標を追求することで、チーム全体で一人ひとりを認め合う絆を醸成し、リーダーとしての力を持ち帰る事を目的とし事業をしました。

チームが設営の担当した時は、セレモニーのリハーサルを行い当日に備えました。このリハーサルはLOMの委員会でも行っていたので大切な事を学んだと思っています。

全体塾会議での塾対抗競技では泉塾が 2 回優勝する事ができました。これはチーム全員が想いを一つになれたからだと思っています。

出向した1年間を振り返ると愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会では、LOMでは出来ない、サバイバルゲームや、プールでゴムボートレースなども行う事ができました。またLOMと違った出会いもあり自分の良い刺激にもなりました。

これは JC で無ければ経験出来なかったと思います。一年間出向させて頂き誠にありがとうございました。

2016 年度 公益社団法人日本青年会議所

東海地区 愛知ブロック協議会に出向して

ブロックアカデミー委員会 委員 田中 克和



愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会へ出向させて頂きましたこと、土川功介理事長をはじめメンバーの皆様、特に今年度は 65 周年と LOM 事業の担いが大きい中、ご理解頂きました森一彦担当副理事長、山岡大介委員長はじめ所属委員会の皆様、誠にありがとうございました。メンバーの皆様の深いご理解とご支援の中、1年間の出向活動を全うすることができませんでした。深く御礼申し上げます。

ブロックアカデミー委員会は、多彩なメンバーが集い、それぞれの LOM や地域の違いが分かる場。ブロックアカデミー委員会の同期たちは、これからの JC 活動、社業ともに切磋琢磨し励みあい自身を磨く場。と伺いました。出向活動を通して、たくさんの他 LOM の仲間達と触れ合い、楽しく活動をしていきたいと思い出向をさせて頂きました。

ブロックアカデミー開校式の際には、私が所属しました黒田塾黒田塾長より、「夢を語り合える場にしたい」との想いを伺い、出会った同じ塾の仲間達も個性豊かで想いも強く、本当に楽しい活動が出来ると楽しみな気持ちになったのを覚えております。

実際の活動では、仕事の環境の変化があり、半数以下の参加に留まってしまいました。それでも LOM とはまた違った個性を持ち、一期一会の出会いを大切にしたいと思っている仲間達に温かく迎えられ、お互いの JC 活動や仕事などに対する想いを深く語り合うことができ、たくさんの刺激を受けることができました。これらのことを通して少しは自身の視野を広めることができたのではないかと考えております。だからこそ、仕事環境の変化とはいえ担いを全うしきれなかったことを大きく悔いております。

今回得たたくさんの仲間達と、ひとつになれたことは今後の JC 活動の大きな資産になると思っております。例えば西尾張 6JC の仲間達とは、今後の連携した活動の礎になると思っております。

少しでも今回の出向活動で学んだこと、得たことを今後の LOM 活動に活かしていく中で、メンバーの皆様への感謝への恩返しをしていければと思っております。一年間ありがとうございました。

2016年度 公益社団法人日本青年会議所

東海地区 愛知ブロック協議会に出向して

ブロックアカデミー委員会 委員 中村 有吾



愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会に本年度出向させていただきました、ありがとうございました。貴重な機会を与えていただきました土川功介理事長をはじめ、青年会議所の皆様、青少年共育委員会の皆様、心から感謝しておりますありがとうございました。大野陽平委員長には心から感謝申し上げます。

私は、ブロックアカデミー委員会の小笠原塾に配属されました。塾長がユニークで信頼のおける方でしたので、はじめは緊張していましたが、とても仲良くしていただき、色々と教えていただきました。私の所属のチームは、皆で郡上市まで行き郡上踊りをしました。その中で踊りのコンテストにも参加し、何事も先頭に立ってやってみるという精神で、リーダーシップを学びました。何度も何度もチーム会議を開き踊りの練習をしました。結果は残念でしたが、達成感と充実感でいっぱいになりました。塾会議の懇親会に流す動画の撮影で小笠原塾メンバー全員の職場を訪問して撮影する事があり大変でしたが、メンバーの日ごろの姿が見れてとてもよかったです。

郡上踊りの際は、場所の下見から設営まで郡上青年会議所の皆様にも大変お世話になり、新しい出会いがありました。小笠原塾の他のチームの塾会議では、皆で協力して100%塾会議を達成することができ最高の塾会議にする事が出来ました。

私のブロックアカデミーの一年は、かけがえない仲間との出会いがあり、多くの学びがあり、同じ目的を持ち皆で努力して一つのものをつくり上げることができました。青年会議所に入って間もないメンバーが集まり、経験のできない事をさせていただき、私は一年で一生の友との絆をつくることができました。所属チームの塾会議では、

何をするかから始まり、練習や設営など色々と関わることができ皆で意見を出し合い、どうすれば皆が満足して参加してもらえるかを考えていくことができました。

この一年の貴重な経験を今後の LOM での事業に活かしていきたいとおもいます。

最後になりますが、開校式から閉校式まで、支援していただきましたメンバーの皆様ありがとうございました。

## JC 活動を振り返って

卒業生 石川 昌臣



2007 年に一宮青年会議所に入会をさせていただき、丸 10 年活動をさせていただきました。各年度ごとにお世話になった委員会メンバーや先輩方に、たくさんの教えやご恩をいただき卒業をさせていただくこととなりました。

名残惜しい気持ちもありますが、ここまで来れてよかった。またたくさんの方々と出会えてことに本当に有意義な 10 年間だったと感じています。

入会したきっかけは、勉強になるからとか自分の知らない世界があるからという言葉に興味をもって入会して、新しい人との出会いや先輩からの教えに意義を感じ、のめりこんでいったことを覚えています。30 歳で入会して改めて自分が何も知らない、無知で世間知らずだったことを思い知らされました。それもあってか、いろいろな先輩からの教えをあまり疑問に思わず学べた事は今の自分の基礎として根付いていると思います。

年がたつにつれて入会同期のメンバーが委員長などの役職をやるようになって、いつかは自分もやってみたい経験してみたいと思うようになりました。今でも委員長の役職が JC での大きなターニングポイントだったと思います。それまでは誰かに何かを頼まれる、教えてもらうなど受け身な部分がほとんどでしたが、委員長になってからはすべて自分が発信元となることで、うまくいかないときはすべて自分に原因がある、そう思うことが多くありいろいろ悩むことがありました、その反面必要なこと大事なことを多く学ぶ本当に貴重な時間だったと思います。

また最終年度は自分がアカデミー委員長の時に入会した倉田委員長に拾っていただき、委員会は違えど当時入会のみんなが活躍してくれた年度に卒業できで本当にうれしくありがたい気持ちで卒業させていただきます。

終わりが近づいてくると、自分がしてもらったことを今度は次の世代にしていかなければいけない、そんな思いも強くなってきました。自分がしてもらったことの半分もできてはいなかったと思いますが、これからも現役メンバーの皆さんには、自分の委員会の例会だけ一生懸命でほかの委員会の例会にはあまり出席しないではなく、自分がしてもらったことをお返りする、そんな関係であればどの事業もうまくいくのではないかと思います。またただ仲間を増やすだけではなく、ただ地域のために活動するだけでなく、自分たちの成長と意識の変化を伴う、真剣で有意義な青年会議所活動の時間を過ごしてください。

JC やっててよかった。

皆さん本当にお世話になりました。

かけがえのない時間をありがとうございました。

## JC 活動を振り返って

卒業生 久保 辰也



2009 年の下期で入会をさせていただきまして、本当に様々な学びを与えてくれた一宮青年会議所に、まずは感謝を申し上げます。

私は、春日井市出身の春日井市在住という春日井市を愛す春日井市民です。でも会社が一宮にあるという事で、一宮青年会議所のメンバーに誘われ入会をしました。ただ一宮市に会社があるということだけで誘われ入会を決めました。当時はそれほど愛着もない一宮の為に自分に何が出来るのかは正直不安でした。初顔合わせの時も、誰も知らない状況でしたし、話してみても一宮の話題ばかりで、分からないことばかりでした。

しかし、無知で馬鹿で世間知らずな私は、入会前は会社と自宅のピストン運動でしたので、入会後の刺激的な事により、楽しさを見つけ、のめり込んでいったことを覚えております。

人と話すことも楽しかったですし、お酒を飲むことが好きだった私は、お酒の席も日に日に増えていき、瞬間に打ち解けていきました。

そんな酒の席などで楽しさを求め出席などをしておりましたが、初めて所属した委員会において、青年会議所の魅力のカケラを見つけてしまいました。

その委員会の委員長はいつも楽しい人ですが、ちょっといいかげんな所もあるなど感じさせる人でした。議案も作り直す事等が多く、その度に落ち込んでいく感じが、当時の私からは頼りない委員長に思えたことを覚えております。そんな委員長でしたが、やっと議案も通りいざ本番へと準備をする中、仕事もあるのに、いろんな団体への打ち合わせだったり、ほとんど仕事が出来ていない状況だったにもかかわらず、そのまなざしは本当に真剣で、この例会を成功へと導くためや、一宮のため、一宮の市民が1つの事を軸に交流をし、

市民一人の点が、点から線へ線から和へと拡がりを見せるため。そしてその拡がりや経済の発展などへも繋がっていくと本気で捉え、真剣に取り組んでいる姿に感銘を受け、私の JC のやる気スイッチが押されました。

以来、様々な役職を経験させていただくわけですが、どの役も1回目は上手い出来ないことばかりでした。1回目の委員長の時も、近年まれにみるダメ委員長でした。自分がダメな事を棚に上げ、副理事長のせいにしてたり、正副のせいにしてたりと散々でした。そのままだったら、その年を越す事なんてできなかつたと思いますが、その時の副委員長が私を助けてくれました。私がどれだけダメでも、どれだけ腐っても、いつも側に居てくれて、いつも支えてくれて、私の想いを代弁してくれたり、議案の作成に協力してもらった以前の、気持ちの部分で私に目いっぱい協力してくれました。そのおかげでその年を、滅茶苦茶ながらも終えることが出来ましたし、人を支えるって意味を知ることが出来ました。

それ以来、自分も同じようにしてきましたし、皆様の前で話すときも、そのような話をする事が多かったと思います。初めてやる委員長で、うまく出来る人なんているはずないので、どんな委員長でも、いつも委員長の側に居てあげてほしいと思います。

そんな事を思いながら、様々な役職をやっていく中で、様々な運命の出会いがありました。和を大事にする方や、どんなに辛くても愚痴1つこぼさずやり抜く方や、立ち振る舞いがカッコいい方や、お金の使い方がスマートな方や、強制力をもって接することの大事さを重んじた方など、様々な出会いがありました。どれもこれも私の財産です。



どれをとっても、JCに活かされることはもちろんの事、社業にも生かす事の出来る学びばかりでした。

そして最後に、その学びを活かして2014年にアカデミー委員長を担うことが出来ました。自分にとって最高の一年でありました。全ての予定者を正会員にする事が出来ませんでした。正会員になっていただいた方は、みな一宮青年会議所を背負ってくれるであろう人材だと確信しております。

本年度理事を受けてくれた方も居ますし、次年度は沢山います。本当に頼もしいです。これからの一宮青年会議所をどうか宜しく願いいたします。みんなに託せたのであれば、安心して卒業が出来ます。

本当の最後に、消極的な発言だと思われるかも知れませんが、一言残して終わりたいと思います。

人の出来る事は限界があります。少しの背伸びはしていいが、背伸びしすぎると限界を超えてしまいます。限界を超える必要はないと思います。少しずつ少しずつで物凄い成長に繋がりますので、慌てず焦らず、歩いていってください。

皆様、7年半お世話になりました。最高のJCライフだったと思えるように悔いなく過ごしてください。



## JC 活動を振り返って

卒業生 森 功一郎



私の人生の転機は 2012 年の歳の暮れでした。当時私は 2013 年度経営力開発委員会の委員長として予定者期間にあり、次年度 3 月に予定されていた公開例会の議案をまとめ上げることに全力を注いでおりました。2013 年度は 3 月、6 月、11 月と青年経済人向けの 3 回の公開例会を任せられており、まず最初の 3 月度例会では経営者としての使命感を育む事業を組み立てようと思いました。経営者のみならず働くすべての人が一生懸命働くには何が必要か。仕事をする時間というのは人生においておそらく一番長い時間を費やすことではないでしょうか。すべての人は必ずいつか死にます。このことから何人たりとも逃れることはできないのです。そうだとしたら限りある生きるという時間を自分が一番好きなことで得意なことで一生懸命できることをしないとったいのではないのでしょうか。限りある命を使うことに値するもの、それが使命です。私はこの使命を見出すことが働くすべての人に必要であり、もし見出すことが出来ればその人は光り輝き周りの人たちをも巻き込んで多くの人を幸せにすることが出来ると信じています。

12 月に入り予定者理事会も大詰めに迎える中、3 月度例会の議案は非常に厳しい状況にありました。正副呼び出しでも長時間に亘りもう少し違う事業が出来ないかと変更を求められていました。その中で使命を見出す例会がやりたいならまず自分がその講師のセミナーを受けて自分の使命を見出しなさいと指摘され、講師の方をお願いして特別にマンツーマンで合宿を行っていただきました。2 泊 3 日の山奥での合宿でしたが、過去に起きた様々な出来事を思い出し、その中からヒントを拾い集め、今の自分が最もやりたいことを探した結果、自分の使命を見出すことが出来まし

た。使命を見つけ出したことで今まで腑に落ちなかったことやどうしてこんなことが起こるのだろうと思っていたことの意味がはっきり分かりました。これは今までの人生でも経験のなかった感動で自然と涙が溢れ講師の前で号泣してしまいました。

使命を見出して以降、長年母に伝えなかったことを伝えられたり、自分が会社の社長になったり、人生のパートナーと結ばれたりと本当に色々な出来事が起こりました。JC をやっていなかったら今の自分は存在していないと思います。JC をやっている大変なことがたくさんあります。でも大変なことをしないと人間は変わらないのです。楽をして難のない時間を過ごしていると無難な人生になってしまいます。たった一度の人生で JC ということも長い時間を使うのだったらとことん一生懸命やらないとったいないです。一生懸命やったら必ず得られるものがあります。それは JC でしか気付けないことだったり、得ることができないものがたくさんあります。後輩のみなさんの JC ライフが素晴らしいものになることを祈念しています。

長い間ありがとうございました。



貸借対照表  
2016年 12月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,106,705	7,790,414	316,291
未収金	775,000	576,212	198,788
立替金	0	400,000	△ 400,000
前渡金	8,000	8,000	0
流動資産合計	8,889,705	8,774,626	115,079
2. 固定資産			
(1)定期預金	29,000,000	29,000,000	0
(2)積立資産	0	3,000,000	△ 3,000,000
(3)その他固定資産	515,497	797,393	△ 281,896
その他固定資産合計	29,515,497	32,797,393	△ 3,281,896
固定資産合計	29,515,497	32,797,393	△ 3,281,896
資産合計	38,405,202	41,572,019	△ 3,166,817
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	104,941	30,000	74,941
前受金	39,000	45,000	△ 6,000
預り金	4,320	4,260	60
流動負債合計	148,261	79,260	69,001
負債合計	148,261	79,260	69,001
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	38,256,941	41,492,759	△ 3,235,818
正味財産合計	38,256,941	41,492,759	△ 3,235,818
負債及び正味財産合計	38,405,202	41,572,019	△ 3,166,817

正味財産計算書

2016年 1月 1日 から2016年 12月 31日 まで

(単位：円)

科 目	決算
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取入金	330,000
入会金	330,000
② 受取会費	
正会員会費	9,484,000
予定者登録料	240,000
賛助会員会費	40,000
特別会員会費	320,000
受取会費計	10,084,000
③ 事業収益	
登録料収益	935,000
協賛金収益	1,000,000
事業収益計	1,935,000
④ 受取補助金等	
地方公共団体補助金	445,000
受取補助金等計	445,000
⑤ 雑収益	
受取利息収益	7,356
その他雑収益	184,115
雑収益計	191,471
経常収益計	12,985,471
(2) 経常費用	
① 事業費	
会場設営費	3,798,093
講師関係費	1,768,421
印刷製本費	1,228,127
旅費交通費	249,040
広報費	2,349,660
記念品費	236,364
通信費	6,276
保険料	29,020
雑費	23,996
事業費計	9,688,997
② 管理費	
会議費	10,000
地代家賃	1,334,606
光熱水料費	71,184
給与手当	1,200,000
旅費交通費	4,260
福利厚生費	11,924
通信運搬費	119,232
消耗品費	40,419
印刷製本費	102,240
賃借料	418,072
減価償却費	281,896
外部法律家委託費	0
会計監査手数料	259,200
国内国際渉外費	249,780
慶弔費	92,400
交際費	145,516
負担金	1,862,350
雑費	149,213
管理費計	6,352,292
経常費用計	16,041,289
当期経常増減額	△ 3,055,818
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
雑損失	180,000
経常外費用計	180,000
当期経常外増減額	△ 180,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,235,818
一般正味財産期首残高	41,492,759
一般正味財産期末残高	38,256,941
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	38,256,941

## 余剰金計算書(案)

自2016年1月1日 至2016年12月31日

本年度余剰金	38,256,941円
上記金額を下記の如く処分する。	
次年度繰越金	38,256,941円

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

(1)「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁 連絡会議申し合わせ)を採用している。

#### (2)消費税の会計処理等

税込処理を採用している。

#### (3)固定資産の減価償却の方法

工具器具備品の減価償却は、定率法を採用している。

### 2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	1,117,095	601,598	515,497
合計	1,117,095	601,598	515,497

財産目録  
2016年 12月 31日 現在

(単位：円)

科 目	使 用 目 的	金 額		
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金	本会事業管理・運営の運転資金として		470,477	
預金				
三菱東京UFJ銀行一宮支店 普通預金	本会事業管理・運営の運転資金として	3,099,173		
いちい信用金庫一宮支店 普通預金	本会事業管理・運営の運転資金として	3,294,204		
尾西信用金庫本店営業部 普通預金	本会事業管理・運営の運転資金として	1,242,851		7,636,228
前渡金				
京都会議事前登録料	地区・ブロック協議会における前渡額		8,000	
未収入金				
一宮市 補助金	本会事業管理・運営における未収額	445,000		
入会金 1名	本会事業管理・運営における未収額	30,000		
正会員会費 2名	本会事業管理・運営における未収額	240,000		
予定者登録料 1名	本会事業管理・運営における未収額	60,000		775,000
流動資産合計				8,889,705
2. 固定資産				
(1) 定期預金				
三菱東京UFJ銀行一宮支店 定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	9,000,000		
いちい信用金庫一宮支店 定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000		
尾西信用金庫本店営業部 定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000		29,000,000
(2) その他固定資産				
パソコン	本会事業管理・運営のため	1		
デスク一式	本会事業管理・運営のため	56,016		
テーブル一式	本会事業管理・運営のため	56,196		
収納一式(西側)	本会事業管理・運営のため	52,884		
収納一式(南側)	本会事業管理・運営のため	186,999		
収納一式(東側)	本会事業管理・運営のため	163,401		
その他固定資産合計			515,497	
固定資産合計				29,515,497
資産合計				38,405,202
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
前受金				
LOM基本資料 13名分	本会事業管理・運営における前受額	39,000	39,000	
仮受金				
2016年度年会費一部 2名	会費過入金のため仮受額	57,000		
日本青年会議所	本会事業管理・運営における仮受額	47,941		104,941
預り金				
源泉所得税	本会事務局員のための預り額	4,320	4,320	
流動負債合計				148,261
2. 固定負債				
固定負債合計				0
負債合計				148,261
<b>III 正味財産</b>				38,256,941




2017年1月4日

公益社団法人一宮青年会議所  
理事長 服部 良太 殿

公益社団法人一宮青年会議所

監事 浅田 佳寿優  印

監事 野杵 晃充  印

監事 野田 一郎  印

### 監査報告書

私たち監事は、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの事業年度の事業報告書並びに貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書のことをいい、正味財産増減計算書内訳表を含む。)、その附属明細書及び財産目録(以下、「財務諸表」という。)に関する監査をいたしました。また、併せて公益目的支出計画実施報告書に関する監査をいたしました。

#### 監査意見

##### (1) 事業報告の監査結果

事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

##### (2) 財務諸表の監査結果

財務諸表は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

##### (3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

収支計算書(内訳表)  
2016年1月1日から2016年12月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1	他1			
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
入金収入	165,000	82,500	82,500	0	330,000
入金収入	165,000	82,500	82,500	0	330,000
会費収入	5,062,000	2,511,000	2,511,000	0	10,084,000
正会員会費収入	4,742,000	2,371,000	2,371,000	0	9,484,000
予定者登録料収入	120,000	60,000	60,000	0	240,000
特別会員会費収入	160,000	80,000	80,000	0	320,000
賛助会員会費収入	40,000	0	0	0	40,000
事業収入	1,935,000	0	0	0	1,935,000
登録料収入	935,000	0	0	0	935,000
協賛金収入	1,000,000	0	0	0	1,000,000
補助金収入	445,000	0	0	0	445,000
補助金収入	445,000	0	0	0	445,000
雑収入	7,261	0	184,210	0	191,471
受取利息収入	7,261	0	95		7,356
その他雑収入	0	0	184,115	0	184,115
<b>事業活動収入合計</b>	<b>7,614,261</b>	<b>2,593,500</b>	<b>2,777,710</b>	<b>0</b>	<b>12,985,471</b>
2. 事業活動支出					
事業費支出	9,565,529	2,512,071		0	12,077,600
会場設営費支出	3,137,373	660,720		0	3,798,093
講師関係費支出	1,728,621	39,800		0	1,768,421
印刷製本費支出	519,320	708,807		0	1,228,127
旅費交通費支出	249,040	0		0	249,040
広報費支出	2,108,038	241,622		0	2,349,660
記念品費支出	129,040	107,324		0	236,364
通信費支出	5,248	1,028		0	6,276
保険料支出	29,020	0		0	29,020
雑支出	23,348	648		0	23,996
地代家賃支出	816,779	250,906		0	1,067,685
光熱水料費支出	43,565	13,382		0	56,947
給与手当支出	360,000	360,000		0	720,000
通信運搬費支出	72,970	22,416		0	95,386
消耗品費支出	24,736	7,599		0	32,335
印刷製本費支出	62,571	19,221		0	81,792
賃借料支出	255,860	78,598		0	334,458
管理費			3,681,793	0	3,681,793
会議費支出			10,000	0	10,000
地代家賃支出			266,921	0	266,921
光熱水料費支出			14,237	0	14,237
給与手当支出			480,000	0	480,000
旅費交通費支出			4,260	0	4,260
福利厚生費支出			11,924	0	11,924
通信運搬費支出			23,846	0	23,846
消耗品費支出			8,084	0	8,084
印刷製本費支出			20,448	0	20,448
賃借料支出			83,614	0	83,614
外部法律家委託費支出			0	0	0
会計監査手数料支出			259,200	0	259,200
国内国際渉外費支出			249,780	0	249,780
慶弔費支出			92,400	0	92,400
交際費支出			145,516	0	145,516
負担金支出			1,862,350	0	1,862,350
雑支出			149,213	0	149,213
<b>事業活動支出合計</b>	<b>9,565,529</b>	<b>2,512,071</b>	<b>3,681,793</b>	<b>0</b>	<b>15,759,393</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 1,951,268</b>	<b>81,429</b>	<b>△ 904,083</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,773,922</b>
II 事業活動外支出	0	0	180,000	0	180,000
III 固定資産取得収支					
1. 投資活動収入	0	0	0	0	0
特定資産収入	0	0		0	0
特定資産取崩収入	0	0	0	0	0
器具備品売却収入	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	281,896	0	281,896
特定資産取得支出	0	0	281,896	0	281,896
器具備品支出	0	0	0	0	0
減価償却引当資産取得支出	0	0	281,896	0	281,896
<b>投資活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 281,896</b>	<b>0</b>	<b>△ 281,896</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 1,951,268</b>	<b>81,429</b>	<b>△ 1,365,979</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,235,818</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>△ 1,951,268</b>	<b>81,429</b>	<b>△ 1,365,979</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,235,818</b>

# 2016年度財務諸表等適法性確認報告書

公益社団法人 一宮青年会議所

2016年度理事長 土川 功介殿

作成年月日 2016年12月31日

名古屋市熱田区大宝三丁目9番10号

税理士法人 さくら

社員税理士 陣田裕司



当税理士法人は、公益社団法人一宮青年会議所の2016年1月1日から2016年12月31日に係る貸借対照表及び収支計算書並びにその付属明細書並びに財産目録、併せて、正味財産増減計算書について通常必要とされる財務諸表の適法性確認手続きを実施し、また当税理士法人が必要と認めたその他の確認手続きを実施しました。

この財務諸表等は依頼者が自ら起票した伝票に基づき、コンピュータ処理により作成した、仕訳帳、総勘定元帳、試算表、固定資産台帳等に基づき作成されております。

日々の取引に関する記録や領収書等はコンピュータ処理により整然と処理され、摘要も詳細に記載されており、疑義を挟む余地のない水準で処理されております。

記帳は事実に基づいて真实性、適時性、網羅性の要件を満たしたものであり適法に処理されていると認めます。